

Panasonic®

# 操作マニュアル

## パーソナルコンピューター

## 品番 CF-52シリーズ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

# Windows Vista について

コントロールパネルのクラシック表示やクラシックスタートメニューを選択することができます。また、ユーザーのログオン／ログオフのしかたを変更することもできます。本書では、クラシック表示やクラシックスタートメニューではなく、Windows Vista の初期設定を用いて説明しています。

● **Windows Update について**

Windows セキュリティセンターで [ 自動更新 ] を有効に設定している場合は、セキュリティの更新など、重要な更新が自動的にインストールされます。手動で更新を行う場合（重要な更新以外の更新を行う場合など）は、以下の手順で行ってください。

① 管理者のユーザーアカウントでログオンする。

② (スタート) - [すべてのプログラム] - [Windows Update]をクリックする。

③ 画面の指示に従って更新プログラムをインストールする。

- デバイスドライバーの更新プログラムは適用しないでください。お使いのパソコンと互換性がない場合があります。詳しくは、弊社の Web ページ（http://askpc.panasonic.co.jp/security/index.html）をご覧ください。
- 再インストールした後も必ず [Windows Update] を行ってください。インストールした更新プログラムの種類により、さらに更新プログラムが提供されている場合があります。プログラムの更新後に再度 Windows Update を実行してください。

● **「スパイウェア対策ソフトウェアの状態を確認してください」というメッセージが表示されたら**

画面右下のタスクトレイの をダブルクリックし、必要な設定をしてください。Windows セキュリティセンターは、パソコンを快適な状態でお使いいただくため定期的に通知を行いますが、エラーメッセージではありませんので、そのままパソコンをお使いいただけます。ただし、ウイルスなどの危険にさらされないよう、適切な対策を行うことをお勧めします。

## ユーザーアカウント制御

ユーザーアカウント制御 は、パソコンの不正操作を防ぐ目的で新たに Windows Vista に採用されたセキュリティ機能です。パソコンで重要な操作を実行しようとすると、その都度ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

## 音声と動画

- PC カードや SD メモリーカードに音声（MP3、WMA 等）や動画（MPG、WMV 等）を記録して再生すると、その途中で途切れることがあります。このような場合には、音声や動画をハードディスクドライブへコピーしたうえで再生してください。
- AVI ファイルに保存された音声や動画を再生すると、その途中で途切れたり再生が遅れたりすることがあります。このような場合には、画面右下のタスクトレイの または をクリックし、[ 高パフォーマンス ] をクリックしてください。これで問題が解消されることがあります。
- Windows の使用状況によっては、Windows の起動時に音声が途切れることがあります。起動時に音声が出ないように設定するには、次の手順を実行してください。
  ① デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。
  ② [Windows スタートアップのサウンドを再生する] からチェックマークを外し、[OK] をクリックする。

## キーボード周辺からキーンという音が聞こえる

これを改善するには、USB の省電力機能の設定を変更してください。
標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

- 次の手順で、[USB の選択的な中断の設定 ] を [ 有効 ] に設定してください。
  ① （スタート）- [コントロール パネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション]をクリックする。
  ② 現在の電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
  ③ [次のプランの設定の変更]の[詳細な電源設定の変更]をクリックする。
  ④ [詳細設定]の[USB設定]をダブルクリックする。
  ⑤ [USBの選択的な中断の設定]をダブルクリックする。
  ⑥ [バッテリ駆動]の設定を変更し、[電源に接続]を[有効]に設定する。
  ⑦ [OK]をクリックし、[詳細設定]の画面を閉じる。

# キーの組み合わせによる操作



お知らせ

- 繰り返し連続して押さないでください。
- フラットパッド、外部マウスなどを操作しながら押さないでください。
- Windowsにログオンするまで、キー操作は行わないでください。ハードディスク状態表示ランプ が消えるまでお待ちください。セットアップユーティリティの画面では、Fn+F1、Fn+F2、Fn+F3のキー操作のみ働きます。
- アプリケーションソフトによっては働かない場合があります。
- Windowsにログオンすると、ポップアップウィンドウが表示されます。ただし、アプリケーションソフトの状態によっては表示されない場合があります。

| キー | 機能 | ポップアップウィンドウ |
|---|---|---|
| Fn+F1<br>Fn+F2 | **内部 LCD の輝度調整**<br>(Fn+F1= 下げる／ Fn+F2= 上げる) | |
| Fn+F3 | **画面の表示先の切り替え**(➔53 ページ)<br>(外部ディスプレイの接続時)<br>内部 LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ<br>お願い<br>● 画面表示が切り替わるまで他のキーを押さないでください。<br>● 次の場合はこの機能を使わないでください。<br>・外部ディスプレイが接続されていないとき<br>・DVD-VideoやMPEGファイルなどの動画を再生しているとき<br>・ピンボールなどのゲームを表示しているとき | — |
| Fn+F4 | **音声出力のオン／オフ**<br>お知らせ<br>● 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴りません。 | オフ(ミュート)　オン |

| キー | 機能 | ポップアップウィンドウ |
|---|---|---|
| Fn+F5<br><br>Fn+F6 | 音量調整<br>（Fn+F5= 下げる／ Fn+F6= 上げる）<br>お知らせ<br>● 音量を微調整するときは、 Fnを押したままF5またはF6を断続的に押してください。 | |
| Fn+F7 | スリープ状態に入る（➔8 ページ） | — |
| Fn+F9 | バッテリー残量確認<br>（バッテリーパックが本体に装着されているとき） | （➔15 ページ） |
| Fn+F10 | 休止状態に入る（➔8 ページ） | — |

# Hotkey設定

次の 2 つの設定をすることができます。

- **Fn キーロック**
  Fn を押した後、他のキーを押すまで、Fn が押された状態（ロック状態）になります。キーの組み合わせが押しにくい場合に便利です。
- **ポップアップウィンドウの表示／非表示**

## 1 Hotkey設定プログラムを起動する。

(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Hotkey設定]をクリックする。

## 2 各項目を設定する。

**[Fnキーをロックする]**

- Fn を 1 回だけ押す場合
  ① Fnを1回押す。（ロック状態）
  ② 組み合わせる他のキーを押す。（ロック状態解除）
- Fn を連続して使う場合
  ① Fnを2回押す。（ロック状態）
  ② 組み合わせる他のキーを押す。（再度Fnを押すまでロック状態のままです。）

**[通知方法]**

[Fnキーが押されたときに音を鳴らす][*1]
[Fnキーの状態を画面に表示する]：Fnの状態を画面右下のタスクトレイに表示します。

- : Fn ロック状態
- : Fn ロック解除

**[ポップアップを表示しない]**
ポップアップウィンドウが表示されなくなります。

## 3 [OK]をクリックする。

お知らせ

- Hotkey設定は、ユーザーごとに設定できます。

*1 音声出力をオフにしていると、ビープ音は鳴りません。

# スリープ・休止状態機能

「スリープ」や「休止状態」機能を使うと、アプリケーションソフトやファイルを閉じることなくパソコンの操作を終わることができます。操作を再開すると、スリープまたは休止状態に入る前に実行していたアプリケーションソフトやファイルにすばやく戻ることができます。

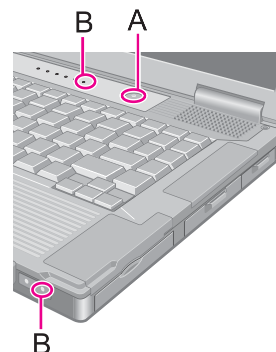
| 機能 | 状態の保存先 | 復帰するまでの時間 | 電力供給 |
|---|---|---|---|
| スリープ | メモリー | 短い | 必要 （スリープ状態中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。） |
| 休止状態 | ハードディスク | やや長い | 不要 （ただし、休止状態を維持するために若干の電力が消費されます。） |

## 使用上のお願い

- 長時間スリープ状態にしておく場合は、AC アダプターを接続してください。AC アダプターを接続できない場合は、スリープ状態ではなく休止状態にしてください。
- スリープまたは休止状態を繰り返すと、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1 週間に 1 回程度）スリープまたは休止状態機能を使わずに Windows を再起動してください。
- 大切なデータは保存してください。
- リムーバブルディスクやネットワークドライブから開いたファイルは閉じてください。
- リジューム（➔9 ページ）の際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードは要求されません。スリープまたは休止状態のときのセキュリティには、Windows のパスワードをお使いください。初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。
- 下記の場合は、スリープ・休止状態に入らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、スリープ・休止状態が働かなくなったり、パソコンおよび周辺機器が正常に動作しなくなることがあります。
  - マルチメディアポケット状態表示ランプMP、ハードディスク状態表示ランプ、SD メモリーカード状態表示ランプSDの点灯中
  - オーディオファイルの録音・再生中や、MPEG ファイルなどの動画の再生中
  - DVD-Video の再生中
  - ディスクへの書き込み中
  - 通信ソフトやネットワーク機能を使用しているとき
  - 周辺機器の使用中
    （周辺機器が正常に動かなくなったときは、パソコンを再起動してください。）
- B's CLiP でフォーマットしたディスクが、CD/DVD ドライブに入っている（画面右下のタスクトレイにが表示されます）と、スリープまたは休止状態に入りません。ディスクはあらかじめ取り出してください。

## スリープ・休止状態に入る／リジュームする

### ■ スリープ・休止状態に入る




**1 ディスプレイを閉じるか、ビープ音[*1]が鳴るまで電源スイッチ（A）を押す。**

- 電源状態表示ランプ（B）で状態を確認してください。
  スリープ状態：電源状態表示ランプが緑色に点滅する。
  休止状態：電源状態表示ランプが消える。
- Windowsのメニューを使ってスリープ・休止状態に入ることもできます。
  (スタート) - - [スリープ] / [休止状態]をクリックする。

**お願い**

**スリープ・休止状態処理中**

- 次の操作をしないでください。
  - キーボード、フラットパッド、電源スイッチ、無線切り替えスイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器の使用
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉

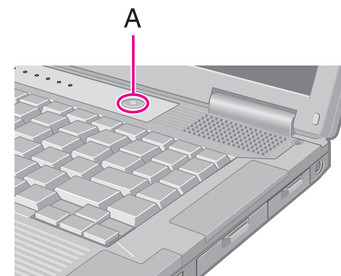
  電源状態表示ランプが緑に点滅（スリープ状態）または消灯（休止状態）するまでお待ちください。
- スリープ・休止状態に入るまで1～2分かかる場合があります。画面が暗くなっても、キーには触れないでください。
- ビープ音[*1]が鳴ったら、すぐに電源スイッチを離してください。手を離してから、電源状態表示ランプが点滅または消灯するまで電源スイッチを操作しないでください。電源スイッチを4秒以上スライドすると、パソコンが強制終了し、[電源ボタンを押したときの動作]を[電源ボタンの動作の選択]のいずれかの項目に設定していたとしても、保存されていないデータは失われます。

**スリープ・休止状態のとき**

- マルチメディアポケット機器や周辺機器の接続・取り外しを行わないでください。誤動作の原因になります。
- スリープ状態では電力が消費されています。特に、PCカード挿入時は電力消費量が増えることがあります。電力の供給がなくなると、保持されていたデータが失われます。スリープ機能を使うときは、ACアダプターを接続してください。
- 無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。

[*1] 音声出力をオフにしていると、ビープ音は鳴りません。

## ■ スリープまたは休止状態からリジュームする




**1** **ディスプレイを開けるか、電源スイッチ（A）を押す。**
- 初期設定では、リジューム時に Windows のパスワード入力画面が表示されます。

**お願い**

- リジュームが完了するまで、下記の操作をしないでください。画面表示のリジューム後、約15秒（通常）または60秒（ネットワーク接続しているとき）お待ちください。
  - キーボード（パスワードの入力以外）、フラットパッド、電源スイッチ、無線切り替えスイッチの操作
  - 外部マウスや周辺機器の使用
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉
  - Windowsの終了または再起動
  - スリープまたは休止状態に入る（約1分間お待ちください）
- USB キーボードやマウスを接続した状態で、パソコンがスリープ状態に入ったとき、USB キーボードのキーまたはマウスに触れると、パソコンはリジュームします。

**お知らせ**

- スリープ・休止状態からリジュームしたとき、「TosBtMng は動作を停止しました」のメッセージが表示される場合があります。
  [プログラムの終了]をクリックしてください。
  Bluetooth接続が切れたときは、（スタート）- [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [Bluetooth設定]をクリックしてから、Bluetooth機器に接続し直してください。

# スリープ・休止状態の設定

## ■ スリープ状態

1 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。

2 変更したい電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。

3 [コンピュータをスリープ状態にする]の設定内容を変更し、[変更の保存]をクリックする。
- スリープ状態への移行時間を変更すると、休止状態に移行する時間が変更になる場合があります。
休止状態に移行する時間を確認してください（下記）。工場出荷時の設定（1080 分）よりも短く設定しないようにしてください。

## ■ 休止状態

1 「スリープ状態」の手順2（上記）までを実行してから、[詳細な電源設定の変更]をクリックする。

2 [スリープ] - [次の時間が経過後休止状態にする]をダブルクリックする。

3 項目を選択して設定内容を変更する。

4 [OK]をクリックする。

# セキュリティ機能

大切なデータを守るために、セキュリティ機能を使うことをお勧めします。

- 他のセキュリティ機能については下記をご覧ください。
  - 内蔵セキュリティ（TPM）（➔95 ページ）：詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

## スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードを設定する前に、スーパーバイザーパスワードを設定してください。

1. **セットアップユーティリティを起動する。（➔90ページ）**
2. **「セキュリティ」を選ぶ。**
3. **「スーパーバイザーパスワード設定」または「ユーザーパスワード設定」を選び、Enterを押す。**
4. **「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、Enterを押す。**
   - パスワードがすでに設定されている場合は、「現在のパスワードを入力してください」にパスワードを入力して Enter を押してください。
   - パスワードを無効にする場合は、入力欄を空欄にして Enter を押してください。
5. **「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、Enterを押す。**
6. **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

**お願い**

- パスワードを忘れないようにしてください。スーパーバイザーパスワードを忘れると、パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）ができなくなります。その場合はご相談窓口にご相談ください。
- セットアップユーティリティを起動しているときは、他の人にパスワードを設定・変更されないようにパソコンから離れないでください。

**お知らせ**

- パスワードは画面に表示されません。
- 入力できる文字は、半角の英数字（スペースを含む）で最大32文字です。
  - 大文字、小文字は区別されません。
  - 数字の入力にテンキーは使用できません。
  - パスワードの入力にShiftとCtrl は使用できません。
- スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードも無効になります。

# パソコンを無断で使用されたくないとき

起動時のパスワードを設定することにより、他の人の無断使用からパソコンを守ることができます。

**1** **パスワードを設定し（➔11ページ）、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定する。（➔95ページ）**

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されていると、「起動時のパスワード」が「無効」であっても、セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力画面が表示されます。

# ハードディスク内のデータを読み書きされたくないとき

ハードディスクを別のパソコンに取り付けたときに、ハードディスクのデータを読み書きされないようにすることができます。ハードディスクを元のパソコンに戻すと、データの読み書きができます。（ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。）

**1** **セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、「ハードディスク保護」を「有効」に設定する。（➔95ページ）**

お願い

- 元のパソコンでデータの読み書きをするには、セットアップユーティリティの設定が、ハードディスクを取り外す前と同じでなくてはなりません。
- スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ハードディスク保護機能は使えません。あらかじめスーパーバイザーパスワードを設定しておいてください。（➔11ページ）
- ハードディスクの修理を依頼する際は：
  - お客様ご相談センターにご相談ください。
  - 「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスク保護機能は、内蔵ハードディスクにのみ働きます。外付けのハードディスクには働きません。
- 「起動時のパスワード」は、ハードディスク保護機能を有効にするためには必要ありませんが、セキュリティをより確実にするために「有効」にしておくことをお勧めします。

# CD/DVDドライブの操作を無効にする

CD/DVD ドライブの操作を無効にして、ドライブ中のディスクのデータを読み書きされないようにしたり、ドライブをパソコン起動時に使われたりしないようにします。無断アクセスやうっかりによる上書きからデータを保護することができます。

**1　セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「光学ドライブ」を「無効」に設定する。**
**(➔93ページ)**

お知らせ

- この機能はUSB CD/DVDドライブには働きません。

## バッテリー状態表示ランプ

| バッテリー状態表示ランプ | バッテリーの状態 |
|---|---|
| 消灯 | バッテリーパックが取り付けられていません。または、充電が行われていません。 |
| オレンジ色点灯 | バッテリーの充電中です。 |
| 緑色点灯 | バッテリーの充電完了です。 |
| 緑色点滅 | 高温モード時に、バッテリー残量が常温モード時の約 80%*1 になるまで放電しています。（➔16 ページ）この状態でバッテリーパックを取り外さないでください。 |
| 赤色点灯 | バッテリー残量が、約 9% 以下になっています。 |
| 赤色点滅 | バッテリーパックまたは充電回路が正常に動作していません。 |
| オレンジ色点滅 | 以下の理由で、バッテリーは一時的に充電できない状態です。<br>・内部の温度が充電可能範囲外になっている。<br>・消費電力量の多いアプリケーションソフトまたは周辺機器を起動しているため、充電するための電力が不足している。 |

*1　高温モード時におけるバッテリー残量 100% は、常温モード時の 80% と同等です。

### お知らせ

- 過充電を防ぐため、いったんバッテリーが満充電になると、バッテリー残量が約95%以下になるまで再充電されません。

# バッテリー残量を確認する

バッテリー残量を画面上で確認できます。

**（Windows にログオンした後）**

**1** **Fn+F9を押す。**

- バッテリーパック装着時（例）




：常温モード時（➔16ページ）




：高温モード時（➔16ページ）

- バッテリーパック未装着時




お知らせ

- 次のような場合、表示されるバッテリー残量と実際のバッテリー残量が合わないことがあります。正しく表示させるにはバッテリー残量表示補正（➔18ページ）を行ってください。
  - バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。
  - バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し、「99%」の表示が長く続く。
  - 使用時間が短いにもかかわらず、バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。
    （ACアダプターから電力の供給がないまま長時間スリープ状態にしていると、このような状態になる場合があります。）
- バッテリーの残量表示が画面右下のタスクトレイの表示と異なる場合がありますが、故障ではありません。

## 高温モード

パソコンを高温環境下で使用したり、満充電の状態で長時間使用したりするときは、高温モードにするとバッテリーの劣化を防ぐことができます。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「環境」を「自動」（工場出荷時の設定）または「高温」にしてください。（➔92 ページ）

お知らせ

- 高温モード時におけるバッテリー残量100%は、常温モード時のバッテリー残量80%と同等です。
- 「常温」から「高温」またはその逆に切り替えると、バッテリーがいったん完全に充電または放電されるまで、バッテリー残量が正しく表示されません。
- 「自動」モード：
  いったん常温モードから高温モードへ自動的に切り替わると、バッテリーの劣化を防ぐために、切り替え後の充電量の合計が満充電量の約5倍になるまで常温モードに切り替わりません。

## バッテリー残量が少なくなったときの動作

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

| バッテリー残量が10%になったら<br>[バッテリー低下アラーム] | バッテリー残量が5%になったら<br>[バッテリー切れアラーム] |
|---|---|
| ● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。<br>↓ | ● パソコンは休止状態に入ります。<br>↓ |
| 充電が必要です。 | AC アダプターを接続するか、バッテリーパックを交換して、パソコンを起動してください。 |
| ● AC アダプターをすぐに接続してください。AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows を終了して電源状態表示ランプが消えていることを確認してください。<br>● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。 | ● AC アダプターを接続し、バッテリーを充電してください。<br>● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。<br>バッテリー切れで休止状態になった場合、そのままリジュームすると、Windows が正常に起動しなくなったり、[バッテリー低下のレベル]/[バッテリー切れのレベル]機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。 |

# バッテリー容量を正確に表示させる（バッテリー残量表示補正）

バッテリー残量表示補正機能を使うと、バッテリー容量を計測し記憶させることができます。バッテリー残量を正確に表示させるために、この機能を使っていったん満充電にしてから完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後すぐに、少なくとも一度は行ってください。バッテリー残量表示補正は、通常 3 か月おきに実施してください。長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合もこの操作を行ってください。

**1** **AC アダプターを接続する。**

**2** **すべてのアプリケーションソフトを終了する。**

**3** **バッテリー残量表示補正を実行する。**

① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ] をクリックする。

② 確認メッセージが表示されたら、[開始]をクリックする。

- バッテリー残量表示補正を頻繁に行うと、バッテリーが劣化する原因になります。前回補正してから約 1 か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。その場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ Windowsを終了するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了すると、自動的に電源が切れます。

バッテリー残量表示補正が終了すると、通常の充電が始まります。

**お知らせ**

- 10℃～30℃の温度環境で実行してください。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - 満充電にかかる時間：約4時間
  - 完全放電にかかる時間：約4時間
- バッテリー残量表示補正実行中にパソコンの電源を切ると（停電、または誤ってACアダプターやバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリー残量表示は補正されません。
- バッテリー残量表示補正は、次の手順でも実行できます。

  ① パソコンを再起動する。
  ② パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間に**F9**を押す。
  ③ バッテリー残量が表示されたら**Enter**を押す。
  ④ 画面の指示に従って操作を行う。

# バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品のため、交換が必要になります。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、バッテリー残量表示補正を実行した後でも性能が回復しない場合は、新しいものと交換してください。

お願い

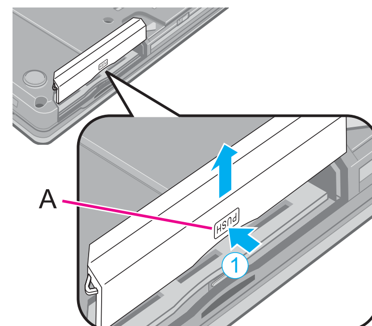
- バッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。初めてお使いになる前に必ず充電してください。AC アダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- スリープ状態に入っているときは、バッテリーパックの取り外しや交換を行わないでください。データが失われたり、パソコンが故障したりする可能性があります。

**1** **パソコンの電源を切る。**

- スリープ機能は使わないでください。

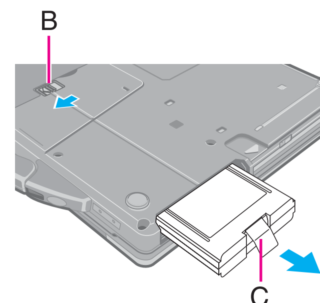
**2** **本体を裏返してカバーを外す。**

① PUSH マーク（A）を押しながら、カバーをスライドして取り外す。

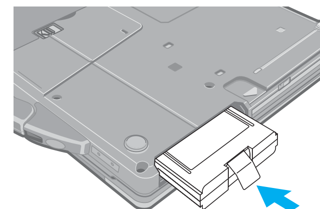



**3** **バッテリーパックを取り外す／取り付ける。**

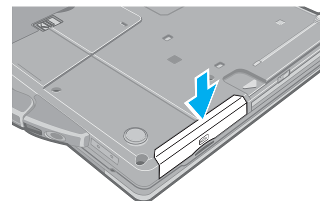
- 取り外すには
  ラッチ（B）をスライドさせ、そのままバッテリーパックのタブ（C）を引く。



- 取り付けるには
  スロットの奥までしっかりとバッテリーパックを挿入する。



**4 カバーをスライドして元どおりに取り付ける。**
カチッと音がするまでカバーを押す。



お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にバッテリーパックが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。
- ラッチがロックされている状態で無理にバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックの破損の原因になります。




不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先
- 最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
  詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.net/hp （2008 年 9 月現在）

## 自動表示機能を有効にする

初めて Windows にログオンした場合、PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定するための画面が表示されます。次の手順を行ってください。

**1** **[Panasonic からのお知らせが1件あります]をクリックする。**




**2** **確認の画面で[はい]をクリックする。**

次の機能の自動表示機能が有効になります。
- バッテリーに関する情報を表示する

以降、定期的にバッテリーに関する情報があるかチェックします。

### お知らせ

- 確認の画面で[いいえ]または[キャンセル]をクリックした場合
  - [いいえ]をクリックした場合
    以降、確認の画面が表示されなくなります。PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするには、「設定を変更する」をご覧になり、設定してください。
  - [キャンセル]をクリックした場合
    次回Windowsにログオンしたときに、再度確認の画面が表示されます。
- PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするための確認画面は、新しく作成したユーザーアカウントで初めてWindowsにログオンした場合も表示されます。

## バッテリーに関する情報を確認する

PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、次の場合に [ バッテリーに関するお知らせが X 件あります ] という小ポップアップ画面が表示されます。
バッテリーパックの状態は定期的に確認されるため、該当の状態になったときに必ずバッテリーに関する情報が表示されるものではありません。



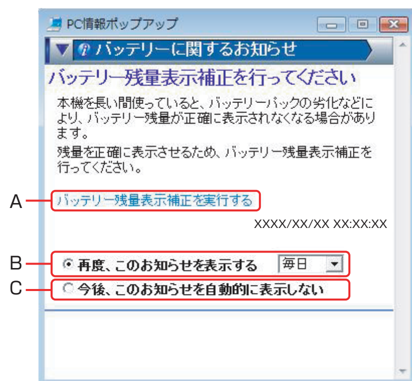

- **バッテリー残量表示補正に関するお知らせ**
  バッテリーパックの使用開始日、または前回のバッテリー残量表示補正から 180 日以上経過している場合
- **バッテリーパックの消耗に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 31% ～ 50% の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）
- **バッテリーパックの交換に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 30% 以下の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）

小ポップアップ画面が表示された場合は、次の手順でバッテリーに関する情報を確認してください。

**1** **[バッテリーに関するお知らせがX件あります]をクリックする。**




**2** **詳細を確認する。**




（画面は一例です）

A. バッテリー残量表示補正を行う方がよい場合に表示されます。クリックすると、「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」が起動します。
B. クリックすると、再度自動的にお知らせを表示します。[▼] をクリックすると、再度自動的にお知らせするまでの間隔を設定できます。
C. クリックすると、お知らせが自動的に表示されなくなります。

**3** をクリックし、ウィンドウを閉じる。

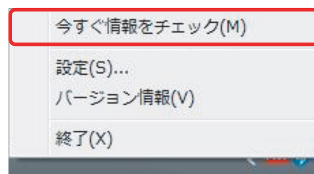
お知らせ

- 満充電容量は次の方法で確認することができます。
  現在の満充電容量を確認する。
  ① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー ] - [PC情報ビューアー ] をクリックする。
  ② [バッテリー使用状況]をクリックする。
  ③ [満充電容量]の値を確認する。

  購入時の満充電容量を確認する。
  ① (スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  ② [SMBIOSデータ] をクリックする。
  ③ [Portable Battery] をクリックする。
  ④ [Portable Battery 1] をクリックする。
  ⑤ [Design Capacity] の値を確認する。
- バッテリー容量を計測し、記憶/学習するためにバッテリー残量表示補正を行ってください。
  バッテリー残量表示補正を行わないと、バッテリーパックの消耗や交換に関するお知らせが表示されない場合があります。
- バッテリー残量表示補正を行った場合、次回ログオン時にバッテリーに関する情報の確認を行います（「お知らせの設定」画面で [自動チェックする ]にチェックマークを付けている項目のみ）。
- 「バッテリー残量表示補正を行ってください」というお知らせと同時に、「バッテリーパックが消耗しています」、「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合
  正確なバッテリー容量を得るために、バッテリー残量表示補正を行ってください。
- バッテリー残量表示補正は、周囲の温度が10℃～30℃の場所で行ってください。
  低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- 「バッテリーパックを交換してください」という画面が表示された場合は、バッテリーパックを交換してください。
  交換方法については、「バッテリーパックを交換する」をご覧ください。

## 小ポップアップ画面が表示されていないときにバッテリーパックに関するお知らせを確認する

**1** **画面右下のタスクトレイの または を右クリックし、[今すぐ情報をチェック]をクリックする。**




小ポップアップ画面が表示されます。
お知らせする情報がない場合は、「お知らせはありません」という画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。

**2** **[バッテリーに関するお知らせがX件あります] をクリックする。**




**3** **詳細を確認する。**

## 設定を変更する

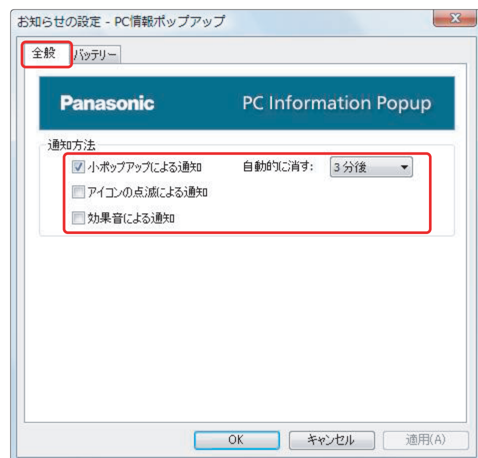
各お知らせの表示条件を変更したり、情報を表示する機能を無効にしたりすることができます。

**1** **画面右下のタスクトレイの または を右クリックし、[設定] をクリックする。**

**2** **[全般]、[バッテリー ] から、設定を変更したい項目をクリックし、必要な項目を設定する。**

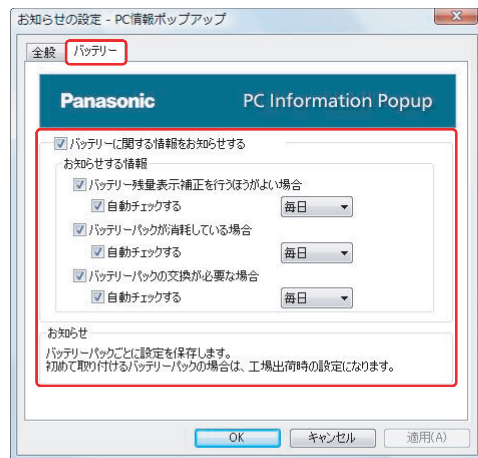
**3** **設定が終わったら [OK] をクリックする。**

- [ 全般 ]
  すべてのチェックマークを外すと、お知らせする情報があっても小ポップアップ画面は表示されず、画面右下のタスクトレイのが に変わるだけになります。




  - [ 小ポップアップによる通知 ]
    チェックマークを付けると、お知らせがある場合に小ポップアップ画面を表示します。
    チェックマークを外しても、情報を手動で確認したときにお知らせがある場合は、小ポップアップ画面が表示されます。
  - [ 自動的に消す ]
    小ポップアップ画面が表示されてから消えるまでの時間を設定します。
  - [ アイコンの点滅による通知 ]
    チェックマークを付けると、お知らせがある場合に画面右下のタスクトレイの PC 情報ポップアップアイコンが点滅します。
  - [ 効果音による通知 ]
    チェックマークを付けると、お知らせがある場合に効果音が鳴ります。

● [ バッテリー ]
バッテリーに関する情報の表示の設定を行います。




- [バッテリーに関する情報をお知らせする]
  チェックマークを付けると、バッテリーに関する情報が表示されます。
  チェックマークを外すと、バッテリーに関する情報が表示されなくなり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔27ページ）をご参照ください。
- [ お知らせする情報 ]
  各項目をクリックしてチェックマークを外す / 付けると、バッテリーに関する情報の表示条件が変更されます。工場出荷時はすべての項目にチェックマークが付いています。
- [ 自動チェックする ]
  チェックマークを付けると、定期的にバッテリーに関する情報があるか自動的にチェックします。
  チェックマークを外すと、[ 今すぐ情報をチェック ] をクリックした場合のみ情報をチェックします。
  [▼] をクリックすると、自動的に情報をチェックする間隔を変更することができます。工場出荷時は [ 毎日 ] に設定されています。

お知らせ

- バッテリーに関するお知らせの設定内容はバッテリーパックごとに保存されます。
  - バッテリーパックを取り外している場合は、すべて無効の状態になり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、下記の「お知らせ」をご参照ください。
- 初めて取り付けるバッテリーパックの[自動チェックする]の設定について
  [自動チェックする]にチェックマークが付くかどうかは、PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするかどうかの確認画面（「自動表示機能を有効にする」の手順**2**の画面）で設定した内容がそのまま反映されます。
  この画面で[はい]を選択していた場合は、初めて取り付けるバッテリーパックにも[自動チェックする]にチェックマークが付き、チェックする間隔は工場出荷時の設定（毎日）に設定されます。
  必要に応じて変更してください。

## アイコンについて

PC 情報ポップアップは、Windows を起動すると自動的に起動し、画面右下のタスクトレイに表示されるアイコンで各情報を確認することができます。

通常は が表示されています。
が表示された場合は、以下の表をご覧ください。

| アイコン | 状態 |
| --- | --- |
|  | 表示する情報がある場合（お知らせするタイミングでアイコンが変わります）。<br>または、小ポップアップ画面が表示されてから、一定時間が経過して小ポップアップ画面が消えた場合。<br>クリックすると、小ポップアップ画面が表示されます。 |

お知らせ

- アイコンが表示されていない場合は、バッテリーパックをセットして、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー ] - [PC情報ポップアップ] をクリックしてください。
  情報を表示するには、「設定を変更する」（➔24ページ）をご覧になり、[バッテリーに関する情報をお知らせする]にチェックマークを付けてください。

# 電源設定をカスタマイズする

電源プランを選定して、操作環境に最も適した電源設定を選択できます。ユーザー固有の電源プランを作成することもできます。

## 電源プランの設定を変更する

1 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。

2 変更したい電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。

3 設定を変更する。
- [詳細な電源設定の変更]：より詳細な設定をすることができます。

4 [変更の保存]をクリックする。

## ユーザー固有の電源プランを作成する

1 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。

2 [電源プランの作成]をクリックし、プラン名の入力欄をクリックして、作成する電源プランの名前を入力する。

3 [次へ] をクリックする。

4 各項目を設定し、[作成]をクリックする。
- 設定内容の変更、またはより詳細な設定をするには（上記の「電源プランの設定を変更する」）

## 電源プランを削除する

1 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。

2 削除する電源プランとは異なる電源プランをクリックする。

3 削除したい電源プランの下に表示された[プラン設定の変更]をクリックする。

4 [このプランを削除]をクリックし、確認画面で[OK]をクリックする。

# マルチメディアポケット

次の機器を装着することができます。
- DVD MULTI ドライブパック

**お願い**

- スリープ・休止状態中や、マルチメディアポケット状態表示ランプ🄼🄿またはハードディスク状態表示ランプ🖴点灯中は、マルチメディアポケット機器の取り付け・取り外しを行わないでください。
- B's CLiPでフォーマットしたディスクをマルチメディアポケット機器に入れたままにしないでください。入っていると、[カバーを閉じたときの動作] で [スリープ] または [休止状態] を選択しても、スリープ・休止状態に入りません。

**お知らせ**

- 最新の製品情報についてはカタログなどをご覧ください。
- 各機器の取扱説明書をよくお読みください。

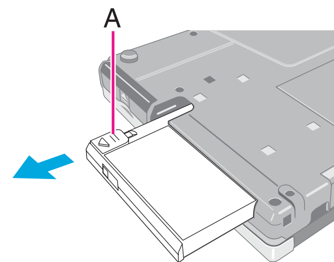
## マルチメディアポケット機器の取り付け／取り外し

### ■ マルチメディアポケット機器を取り外す

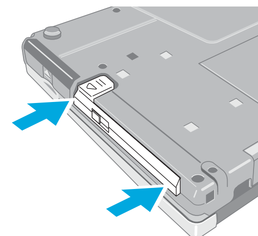
**1 マルチメディアポケット機器の停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイの をクリックする。
② マルチメディアポケット機器を選択し、[OK] をクリックする。
③ マルチメディアポケット状態表示ランプ🄼🄿とハードディスク状態表示ランプ🖴が消えていることを確認する。
- 次の場合、この手順は必要ありません。
  - パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
  - が表示されていないとき
  - 手順 ② で、取り外す機器が一覧にないとき

**2 マルチメディアポケット解除ボタン（A）を押し、そのまま機器をスライドさせてマルチメディアポケットから外す。**



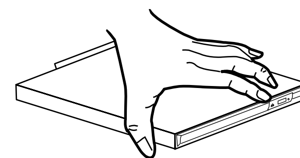
## ■ マルチメディアポケット機器を取り付ける



**1** **機器の両端を押しながら、奥までしっかりとマルチメディアポケットに挿入する。**

- 機器を取り付けるときは、パソコンの電源を入れておいてください。
- 黒いシート面を下にして機器を挿入してください。

お願い



- 機器は両側面を持ってください。他の部分を持つと、機器が損傷する可能性があります。
- パソコンのマルチメディアポケット側を持ち上げて、傾けた状態で機器を挿入する場合は、衝撃を与えないよう注意してください。
- パソコンを持ち運ぶときは、マルチメディアポケット解除ボタンが確実にロックされているか確認し、機器が落ちないようにしてください。
- お使いの際には必ずマルチメディアポケット機器を取り付けてください。

お知らせ

- 画面右下のタスクトレイのをダブルクリックすると、機器が認識されたかどうか確認することができます。機器が認識されない（またはメディアにアクセスできない）場合は、パソコンの電源を切り、機器を挿入し直してください。

お知らせ

- 書き出しや書き換え作業が長時間に及ぶ場合は、ACアダプターを接続しておいてください。作業中にバッテリー切れが起こると書き出しに失敗する場合があります。
- ディスクへの書き出し/書き換えにはWindowsの標準機能、または書き出し用のアプリケーションソフトをお使いください。（例：B's Recorder ➔40ページ）
  ディスクと選択している書き出し速度が一致している必要があります。
- 書き込まれるデータの品質はディスクに依存します。

# 使用上のお願い

## CD/DVD ドライブの取り扱い

- CD/DVD ドライブは、油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。レンズの寿命が短くなることがあります。
- CD/DVD ドライブのレンズのクリーニングには、カメラ用のレンズブロアーのご使用をお勧めします。
  （スプレー式の強力なものは使わないでください。）

**トレイを開けるとき／閉じるとき**

- パソコンの電源が入っているときは、ディスク取り出しボタン（➔36 ページ）を使用するか、または Windows の操作で取り出してください。
- 画面右下のタスクトレイに が表示されているときにディスクを取り出すには、 を右クリックし、［取り出し］をクリックしてください。
  ディスクの取り出しは必ず上記のように行ってください。
- ディスクを出し入れするときにはレンズ部分に触れないようにご注意ください。
- トレイを開けたまま放置したり、レンズ部分に手を触れたりしないでください。
  ゴミやほこりがレンズに付着し、データを読み取れなくなる場合があります。
- 開いた状態のトレイに無理な力をかけないでください。
- CD/DVD ドライブのすき間部分にクリップなどの異物を入れないでください。故障の原因になります。
- トレイにディスク以外のものを載せないでください。
- トレイを閉じて、マルチメディアポケット状態表示ランプ MP が消えるまでは、ドライブにアクセスしないでください。

**CD/DVD ドライブアクセス中**

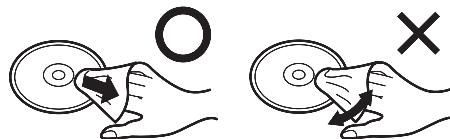
- トレイを開けたり、パソコンを移動したりしないでください。ディスクの損傷、読み出しや書き込みの失敗、CD/DVD ドライブの故障の原因になります。
  また、ディスクにアクセスするアプリケーションソフトを起動した後は、そのアプリケーションソフトを終了するまで、トレイを開けたりしないでください。

## ディスクの取り扱い

- 変形しているディスク、ゆがんでいるディスク、変則的な形のディスクは使用しないでください。
  ディスクの状態によっては、ディスクの読み取りが不可能な場合があります（ひび、汚れ、改造、データ記録の品質、コピー保護機能付き、ディスクの作成に使用された記録装置／ソフトウェアなど）
- 本書およびお使いのディスクの取扱説明書や包装に記載されている内容をよくお読みのうえ、ディスクをお使いください。
- ディスクを正しく取り扱わないと、ディスクが汚れたり傷ついたりして、書き込み速度が低下したり、データの記録や再生が正常に行われなくなることがあります。また、CD/DVD ドライブの故障などの損害が発生するおそれがあります。
- 以下のことをお守りください。
  - 再生／記録面に触れない
  - ディスクの表面を、ゴミやほこり、指紋などで汚したり、引っかき傷を付けたりしない
  - ディスクの表面にボールペンなどで書き込みをしない
  - ステッカーを貼らない
  - 落としたり、曲げたり、ディスクの上に重いものを置いたりしない
  - ゴミやほこりの多い場所、温度や湿度の高い場所、直射日光の当たる場所に置かない
  - 温度差の激しい場所に置かない（結露が生じます）
    急に暖かい室内に持ち込んだときなどに露が付いたら：
    読み取り専用のディスクの場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。書き込み／書き換え可能なディスクの場合は、布でふかずにそのまま乾くまで置いておいてください。
  - ディスクを使用しないときは、必ず保護ケースまたはカートリッジに入れる

**汚れを取るには**

<読み取り専用ディスクの場合>
乾いた柔らかい布で中心から端に向かって、ふいてください。
汚れがひどい場合は、水を含ませた柔らかい布で中心から端に向かってふいた後、からぶきしてください。
<書き込み／書き換え可能なディスクの場合>
当社製ディスククリーナーをお使いください。
布や CD 用クリーナーなどは、絶対に使わないでください。



**持ち方**



# ディスクについて

● 以下のディスクは本機で読み出し／書き込みができます。

| CD-R | CD-RW | | |
|---|---|---|---|
| COMPACT disc Recordable | COMPACT disc ReWritable | COMPACT disc ReWritable High Speed | COMPACT disc ReWritable Ultra Speed |

| DVD-RAM*1 | DVD-R | DVD-R DL | DVD-RW*2 |
|---|---|---|---|
| DVD RAM | DVD R | DVD R R DL | DVD RW |

| +R | +R DL | +RW | |
|---|---|---|---|
| RW DVD+R | RW DVD+R DL | RW DVD+ReWritable | RW DVD+ReWritable High Speed |

*1 DVD-RAM：カートリッジなしのディスク、またはカートリッジから取り出せるディスクのみ使用できます。

*2 DVD-RW Ver.1.0 には対応していません。

● 以下のディスクは本機で読み出しができます。

| CD-ROM | CD DIGITAL AUDIO | CD TEXT | CD-EXTRA | Video CD | Photo CD |
|---|---|---|---|---|---|
| COMPACT disc | COMPACT disc DIGITAL AUDIO | COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT | COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO CD EXTRA TM | COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD | Photo CD TM |

| DVD-ROM | DVD-Video |
|---|---|
| DVD ROM | DVD VIDEO |

## ■ 書き込み／書き換えの推奨ディスク

- CD-R
  日立マクセル（株）製
  三菱化学メディア（株）製
  太陽誘電（株）製
- CD-RW/High-Speed CD-RW
  三菱化学メディア（株）製
  （株）リコー製
- Ultra-Speed CD-RW
  三菱化学メディア（株）製
- DVD-R
  パナソニック（株）製
  三菱化学メディア（株）製
  太陽誘電（株）製
- DVD-R DL
  三菱化学メディア（株）製
- DVD-RW
  三菱化学メディア（株）製
  日本ビクター（株）製
- DVD-RAM
  パナソニック（株）製
  日立マクセル（株）製
- +R / +RW
  三菱化学メディア（株）製
  （株）リコー製
- High-Speed +RW
  （株）リコー製
- +R DL
  三菱化学メディア（株）製

## ■ 書き込みできるDVDディスク

- DVD-R for General
  1 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 2 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 4 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 8 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 16 倍速（4.7 G バイト）
- DVD-R DL
  2 ～ 4 倍速（8.5 G バイト）
  2 ～ 8 倍速（8.5 G バイト）
- DVD-RW
  1 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  1 ～ 2 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  2 ～ 4 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  2 ～ 6 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
- DVD-RAM
  2 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  2 ～ 3 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
  2 ～ 5 倍速（4.7 G バイト／ 9.4 G バイト）
- +R
  1 ～ 2.4 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 4 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 8 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 16 倍速（4.7 G バイト）
- +R DL
  2.4 倍速（8.5 G バイト）
  2.4 ～ 8 倍速（8.5 G バイト）
- +RW
  1 ～ 2.4 倍速（4.7 G バイト）
  1 ～ 4 倍速（4.7 G バイト）
- High-Speed +RW
  3.3 ～ 8 倍速（4.7 G バイト）

## DVDメディアを使用する

DVD-Video や MPEG ファイルの再生には、WinDVD などの DVD 再生ソフトウェアが必要です。(➔37 ページ)

### ■ リージョンコードの設定

DVD-Video には販売される地域のリージョンコードが設定されています。DVD-Video を再生するには、ディスクとドライブのリージョンコードが一致している必要があります。

例
日本・ヨーロッパ：「2」
アメリカ・カナダ：「1」

- 本機は工場出荷時にリージョンコードは設定されていません。そのため、初めて DVD-Video を再生したときは、以下のようになります。
  - **特定のリージョンコードが設定されている DVD-Video の場合：**
    DVD-Video と同じリージョンコードが自動的に設定されます。
  - **複数のリージョンコードが設定されている DVD-Video の場合：**
    リージョンコードの確認画面が表示されます。リージョンコードを選んで [OK] をクリックしてください。再生が始まります。

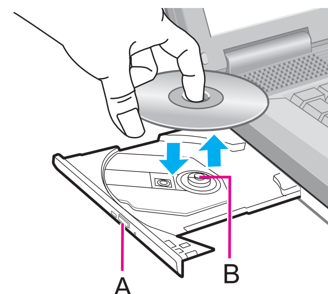
お願い

- リージョンコードは、最初の設定も1 回に含めて全部で5 回設定できます。5回目の設定を行うと、そのリージョンコードに固定され、システムを再インストールしてもそれ以上変更できなくなりますので、十分にお気を付けください。
- 不正にリージョンコードを改変した場合の問題については、お客さまの責任となります。

お知らせ

- ドライブのリージョンコードと異なるリージョンコードのDVD-Video をセットした場合も、リージョンコードの確認画面が表示されます。
  (一部のDVD-Video では、リージョンコードの確認画面が表示されないことがあります。ドライブに設定されているリージョンコードと残りの設定回数は、「WinDVD」の画面上で右クリックし、[セットアップ]から[リージョン(地域)] を選んで確認してください。)

# ディスクのセット／取り出し




**1** **パソコンの電源を入れる。**

**2** **ディスク取り出しボタン（A）を押し、ゆっくりトレイを引き出す。**

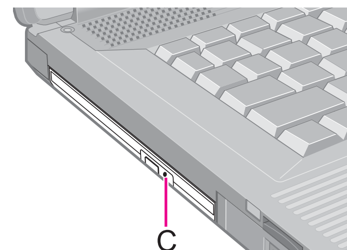
**3** **ディスクをセットする／取り出す。**

- セットするには
  タイトル面を上にしてディスクを置き、ディスクの中心部をカチッと音がするまでしっかりと押してください。
- 取り出すには
  センターホルダー（B）に指を添え、ディスクの端を浮かせながら取り出します。

**4** **トレイを閉じる。**

ディスク取り出しボタンは押さないでください。

お知らせ




- パソコンの電源を入れないでディスクを取り出したいときは、直径1.3 mmのピンをエマージェンシーホール（C）に挿し込んでください。（ピンの直径がこれより小さい場合は、ピンを少し下に向けて挿し込んでください。）トレイが出てきます。（エマージェンシーホールの位置はドライブによって異なります。）
- B's Recorderをお使いの場合には、なるべく振動を抑えるように書き込み速度を[8倍速]以下に設定してください。
- 自動実行のディスクについて
  - スリープや休止状態からリジュームした後、ディスクをセットしても自動で再生されない場合は、15秒以上待ってからディスクを入れなおしてください。
  - セットしたディスクによっては、ファイルへのアクセス中に自動実行が開始されることがあります。
- ディスクから動画を再生したとき、滑らかに再生できないことがあります。

## 省電力モードについて

省電力のため、CD/DVD ドライブに約 30 秒間アクセスがないと自動的にドライブモーターの電源が切れます。CD/DVD ドライブにアクセスがあるとドライブモーターの電源が入ります。電源が入った後、実際にディスクからデータを読めるようになるまで、約 30 秒間かかります。

# WinDVD

WinDVD は、DVD-Video 再生用のアプリケーションソフトです。詳しい WinDVD の操作方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

- DVD-Audio は WinDVD では再生できません。

## WinDVDを使う

**1 デスクトップの（InterVideo WinDVD）をダブルクリックする。**

- または、(スタート) - [すべてのプログラム] - [InterVideo WinDVD] - [InterVideo WinDVD] - [InterVideo WinDVD for Panasonic] をクリックする。

お知らせ

- デスクトップに が表示されていない場合、またはメニューに [InterVideo WinDVD] が表示されていない場合：
  WinDVDを再インストールしたとき、 または [InterVideo WinDVD] は再インストールしたユーザーの画面以外には表示されないことがあります。その場合、(スタート) をクリックし、[検索の開始] に「c:¥program files¥intervideo¥dvd8¥windvd.exe」と入力し **Enter** を押して、WinDVDを起動してください。
  それでもファイルが見つからない場合は、WinDVDを再インストールしてください。

### ■ オンラインヘルプを見るには

WinDVD の起動後、次のどちらかの方法で見ることができます。

- WinDVD のコントロールパネル上の「?」をクリックする。
- WinDVDの画面上で右クリックし、[ヘルプ] をクリックする。

サポート情報
「WinDVD」が正常に動作しない場合、動作環境、オペレーションについての疑問点がございましたら、まずオンラインヘルプをよくお読みください。
それでも解決しない場合は、Corel Corporation のホームページ [*1]（http://www.corel.com/）内にある問い合わせ用のフォームに必要事項を入力して送信してください。
[*1] 表示する言語を変更することができます。

お願い

- パソコンの起動直後、まだハードディスク状態表示ランプ が点滅しているときは WinDVD を起動しないでください。
- WinDVD の起動中に、次の操作をしないでください。
  - スリープまたは休止状態に入る
  - **Fn**+**F3** で表示先を切り替える
- 動画の再生中には、次の操作をしないでください。

- ディスクを取り出す
- 他のアプリケーションやコマンドプロンプトを使用する
- 画面のプロパティを変更する

● WinDVD と他の再生ソフトを共存させないでください。
滑らかに再生ができなくなる可能性があります。市販の DVD-Video の中には、再生時に独自の再生ソフトをインストールする仕組みになっているものがあります。このような DVD-Video で、インストール開始画面が表示された場合は、必ずインストールを中止してください。誤ってインストールし、正しく再生できなくなった場合は、次の方法をお試しください。
- (スタート) - [コントロール パネル] - [プログラムのアンインストール] をクリックしてインストールした再生ソフトをアンインストールする。(再生ソフトの名称は取扱説明書をご覧ください。)
- 再生ソフト独自の設定で、DVD-Video 再生ソフトを指定できる場合は、WinDVD を指定する。

# CPRMで録画したディスクを再生する

デジタル放送などで「1 回だけ録画可能」として放送された番組を DVD レコーダーで録画／記録した場合、WinDVD でそのディスクを再生するには、インターネットから WinDVD に CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込む必要があります。

お知らせ

● CPRM で録画したディスクを再生するには、管理者のユーザーアカウントでログオンするか、（InterVideo WinDVD）を右クリックして [ 管理者として実行 ] をクリックしてください。
● CPRM Pack を組み込んでいない場合は、ディスクの再生中または再生しようとすると、画面左上に [ CPRM コンテンツをスキップしています ] と表示され、画面がスキップされることがあります。
WinDVD に CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込んでください。

## ■ WinDVDにCPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムを組み込む

1 管理者のユーザーアカウントでログオンして、インターネットに接続する。
2 デスクトップの（InterVideo WinDVD）をダブルクリックして、WinDVDを起動する。
3 ディスク取り出しボタンを押し、CPRMで録画したディスクをセットする。
4 ディスクを再生する。

**5** **「CPRMのサポートが有効になっていないため……」という画面で、[OK]をクリックする。**

**6** **画面の指示に従ってユーザー登録を行い、CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムをダウンロードする。**
CPRM拡張機能（CPRM Pack）プログラムのダウンロードおよびそのインストール方法については、コーレル株式会社へお問い合わせください。
ユーザー登録で入力した内容は、メモを取るなどして忘れないようにしてください。

ダウンロードした CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムは、再インストール時に必要になります。CPRM Pack は登録したユーザーが 20 回までダウンロードできますが、SD/SDHC メモリーカードなどの外部メディアに保存することをおすすめします。

プログラムの組み込みは、インターネットへ接続できる環境が必要です。インターネットに接続できる環境になく、CPRM 拡張機能（CPRM Pack）プログラムが必要な場合は、パナソニックパソコンお客様ご相談センターにお問い合わせください。

## DVDレコーダーなどで作成したDVDの再生について

次のような制限があります。
- ディスクの状態（記録品質、傷、汚れ、変形、コピープロテクション、作成に使用した DVD レコーダーやディスクのメーカーなど）によっては、正しく読み出し／再生ができない場合があります。
- DVD-RAM 以外のディスクを再生するには、ファイナライズ（他の DVD プレーヤーなどで再生できるようにする処理）が必要です。ファイナライズの方法は、お使いの DVD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

## Windowsの標準機能を使う

**1** **ディスクをセットする。**

**2** **「自動再生」画面で [ファイルをディスクに書き込む] をクリックする。**

- または、(スタート) - [コンピュータ] をクリックし、[DVD RW ドライブ] をダブルクリックする。
- 画面の指示に従ってください。

## B's Recorderについて

「B's Recorder」は、株式会社ビー・エイチ・エーが開発した CD/DVD 書き込みソフトウェアです。
詳しくはソフトウェアのユーザーマニュアルをご覧ください。(➔41 ページ)

### ■ 対応メディア

- CD-R
- CD-RW
- DVD-RAM*1
- DVD-R
- DVD-R DL
- DVD-RW *2
- +R
- +R DL
- +RW

*1 B's Recorder で DVD-RAM に書き込むと、その DVD-RAM は「読み取り専用」ディスクになります。
B's Recorder 以外で書き込めるようにするには、物理フォーマットが必要です。

*2 DVD レコーダーで作成した DVD-RW の読み取りや書き込みはできません。

**複製について**
映像・音楽などの著作物の複製は、個人的または家庭内で使用する以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# B’s Recorderを起動する

**1** **デスクトップの（B’s Recorderメインウィンドウ）をダブルクリックします。**

B's Recorder GOLD9

- または、(スタート) - [すべてのプログラム] - [B.H.A] - [B’s Recorder GOLD9] - [B’s Recorder GOLD9]（B’s Recorderメインウィンドウ）／[タスゲート]（ラウンチャー）をクリックします。

お願い

- Windows をログオフする前に、必ず B’s Recorder を終了してください。
  終了しないと、次回 Windows にログオンしたときに B’s Recorder が正常に起動しない場合があります。その場合はパソコンを再起動してください。

## ■ ユーザーマニュアルを見るには

① (スタート) - [すべてのプログラム] - [B.H.A] - [B’s Recorder GOLD9] - [マニュアル] - [ユーザーズマニュアル]（ユーザーマニュアル）／[タスゲート]（タスゲートのマニュアル）をクリックします。.

**サポート情報**

- ユーザー登録について
  次の手順でユーザー登録ができます。
  1　インターネットに接続できる状態で、B’s Recorder を起動する。
  2　[ヘルプ] - [関連サイト情報] - [オンラインユーザー登録] をクリックする。以降、画面の指示に従ってください。
- B’s Recorder が正常に動作しない場合、動作環境、オペレーションについての疑問点がございましたら、まずユーザーマニュアルをよくお読みください。それでも解決しない場合は、株式会社ビー・エイチ・エーにお問い合わせください。（お問い合わせの前にユーザー登録が必要です。）
- Web サイト
  サポートページ http://help.bha.co.jp
  ホームページ http://www.bha.co.jp
- 株式会社ビー・エイチ・エー　テクニカルサポートセンター
  Windows 用製品向け代表番号
  電話：06-4861-8234
  お問い合わせ時間帯：月～金曜日　10:00 ～ 12:00、　13:00 ～ 17:00
  （夏季・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）

# 起動（ブート）可能なCD/DVDを作成する

B’s Recorder を使用して CD/DVD ドライブからシステムを起動（ブート）できる CD/DVD を作成できます。

- 以下の手順で CD/DVD を作成してください。
  詳細については、B’s Recorder のユーザーマニュアルをご覧ください。（➔41 ページ）

1. **B’s Recorderを起動する（➔41ページ）。**
2. **CD/DVD ドライブに未使用のディスクをセットする。**
3. **起動（ブート）に使用するデータをデータウェルに登録する。**
4. **[トラックの種類]にある[01 データ(MODE1)]をダブルクリックする。**
5. **[ブータブルCD/DVD]の項目で[汎用的な起動ディスクイメージより作成]をクリックする。**
   - お使いの機種によっては、[ ブータブル CD/DVD] が [ ブータブル CD] と表示されます。
6. **[OK]をクリックし、[書込み]をクリックする。**
7. **[開始]をクリックする。**

## ■ 起動イメージの変更

1. **B’s Recorderを起動して、[表示] - [容量表示設定] - [起動ディスク]をクリックする。**
2. **[フロッピーディスクイメージの管理]で必要な起動ディスクイメージを選び、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- 起動ディスクイメージは、「c:￥Program Files￥B’s Recorder GOLD9」フォルダーに保存されています。

## ■ 起動ディスクイメージについて

B’s Recorder で使用可能な起動ディスクイメージとしては、次の 6 種類が用意されています。

| ディスクイメージ | 内容 | B’s リストアプログラム *3 |
|---|---|---|
| BSDOS1.BIN | 本機で起動（ブート）可能なイメージ（本機専用） | なし |
| BSDOS2.BIN | | 有り |
| BSDOS3.BIN | 本機および ATAPI で接続されたドライブで起動（ブート）可能なイメージ | なし |
| BSDOS4.BIN | | 有り |
| BSDOS5.BIN | ATAPI で接続されたドライブで起動（ブート）可能なイメージ（本機では使用できません） | なし |
| BSDOS6.BIN | | 有り |

*3 B’s Recorder の「HDD バックアップ」機能でバックアップしたデータを戻す（リストアする）プログラム。

お知らせ

- 工場出荷時は、本機で起動可能なイメージ（BSDOS1.BIN、BSDOS2.BIN）が選択されています。
- 起動ディスクイメージBSDOS3.BIN、BSDOS4.BINで作成したディスクを使って起動（ブート）すると、次のいずれかのメッセージが表示されますが、問題はありません。

  本機で起動（ブート）する場合
  - CD-ROM Drive is not ready, aborting installation.

  USBのドライブが接続されたパソコンで起動（ブート）する場合
  - Not found CD-ROM !!
  - Check CD-ROM power and IDE cable.
  - CD-ROM drive is not available.

次のカードを挿入することができます。

- エクスプレスカードスロット（A）：ExpressCard/34 または ExpressCard/54
- PC カードスロット（B）：PC カードタイプⅠ（3.3 mm）またはタイプⅡ（5.0 mm）




お知らせ

- 下記のカードは使えません。
  PCカードタイプⅢ（10.5 mm）、ZVカード、SRAMカード、FLASH ROMカード（ATAインターフェースタイプを除く）、その他の動作電圧12Vを必要とするカード
- ストレージタイプのCardBus PC カードを取り付けた状態で Windows を起動しないでください。エラーの原因になります。
- 工場出荷時、エクスプレスカードスロットとPCカードスロットにはダミーカードが挿入されています。
  それぞれのスロットを使用する前に、ダミーカードを取り外してください。（➔45ページ手順2）
- スロットを使わないときは、保護のためそれぞれのダミーカードを挿入してください。このとき、エクスプレスカードスロットにPCカードスロット用のダミーカードを挿入したり、PCカードスロットにエクスプレスカードスロット用のダミーカードを挿入したりしないでください。正しいダミーカードを挿入しないと、パソコンが誤動作することがあります。

## カードの取り付け／取り出し

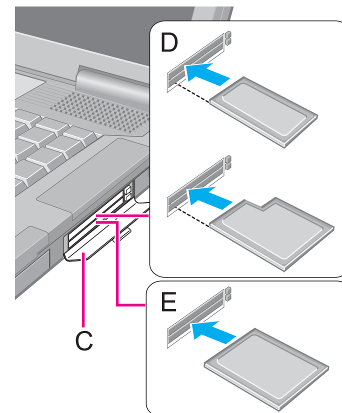
**準備**

- カードのドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。
- ダミーカードが挿入されていたら、取り外してください。

## ■ カードを取り付ける

**1** **カバー（C）を開け、エクスプレスカード（D）またはPCカード（E）を、ラベル面を上にしてスロットの奥までしっかりと挿入する。**

- 詳しくはカードの取扱説明書をご覧ください。



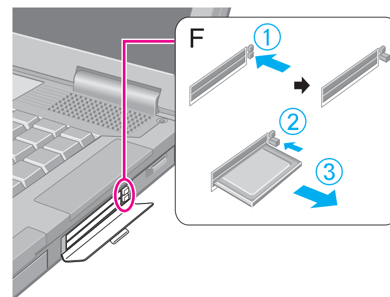

## ■ カードを取り出す

**1** **カードの停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイのをクリックし、カードを選択して[OK]をクリックする。
- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

**2** **カバーを開けて、カードを取り出す。**

① 取り出しボタン（F）を押す。取り出しボタンが飛び出します。
② 再度取り出しボタン（F）を押す。カードがスロットから出てきます。
③ カードをまっすぐ引き抜く。



お知らせ

- カードの定格を確認して、動作電流がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  許容電流：3.3 V：400 mA、5 V：400 mA
- カードによっては同時に使用できない場合があります。
- カードの取り付け／取り出しを繰り返していると、認識されなくなることがあります。その場合は、パソコンを再起動してください。
- スリープ・休止状態からリジュームした後で、パソコンが動作しなくなったときは、カードの出し入れを行ってください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。
- カード挿入時は、電力消費量が増加します。カードを使用していないとき、特にバッテリー駆動で操作しているときは、PCカードを取り外しておいてください。
- PCカードやエクスプレスカードを使って周辺機器（SCSI、IEEE1394など）を接続する場合は、下記の手順に従ってください。（手順は一例です。）
  ① 周辺機器をカードに接続する。
  ② 周辺機器の電源を入れる。
  ③ スロットの奥までしっかりとカードを挿入する。

## SDメモリーカードについて

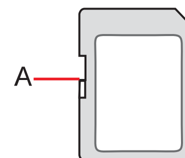
- 本機の SD メモリーカードスロットは、SD メモリーカードと SDHC メモリーカード（2 GB を超える容量を持つ SD メモリーカード）に対応しています（セキュア対応（著作権保護機能付き））。
- miniSDメモリーカードおよびmicroSDメモリーカードを使う場合は、必ず専用のminiSDメモリーカードアダプターまたはmicroSDメモリーカードアダプターに装着し、アダプターごと抜き挿ししてください。スロット内にアダプターを残さないでください。
- SD メモリーカードは、インターネットなどのコンテンツ配信サービスに対応しています（セキュア対応（著作権保護機能付き））。
- 本機で SD メモリーカードをフォーマットする場合は、Windows の「フォーマット」ではなく、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いください。
  このソフトウェアは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://panasonic.jp/support/audio/sd/download/sd_formatter.html
- 他の機器で SD メモリーカードを使う場合は、その機器でカードをフォーマットしてください。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

**取り扱いおよび保管上のお願い**

- パソコンから SD メモリーカードを取り出した後は、ケースに入れて保管してください。
- 次のことを行わないでください。
  - 分解や改造
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 端子部に指や金属で触れる
  - 貼られているラベルをはがしたり、新たにラベルやシールを貼る
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたるところや車内など、温度が高くなるところ
  - ほこりの多いところや湿度の高いところ
  - 腐食性のガスなどが発生するところ

**データの取り扱い上のご注意**

- カードの書き込み禁止スイッチ（A）を「LOCK」側にしてください。データの録音（チェックアウト）、保存、編集などをするときには解除してください。
- 大切なデータは他のメディアにもバックアップしておくことをお勧めします。
- 廃棄するときは、個人データなどの流出を防ぐために、金槌などで物理的に破壊することをお勧めします。



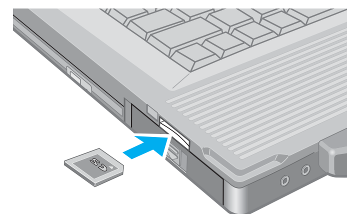
# SDメモリーカードの取り付け／取り出し

お願い

- Windowsのログオン画面またはデスクトップ画面が表示されるまで、SDメモリーカードの取り付け／取り出しは行わないでください。
- 次の場合は、カードを取り出したりパソコンの電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。
  - スリープまたは休止状態のとき
  - SDメモリーカード状態表示ランプ SD が点灯または点滅しているとき
  - データの読み出し中または書き込み中
  - 書き込み操作の直後
    書き込み操作の直後は、パソコンがカードにアクセスを続けていることがあります。操作が完了する前にカードを取り出すと、データが壊れたり、カードに正常にアクセスできなくなるおそれがあります。
- お客さまが記録したデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無理にカードを引き抜かないでください。スロットが傷つく場合があります。
- カードは正しい向きに挿入してください。誤って挿入すると、カードとスロットが損傷する場合があります。
- スリープ・休止状態からリジュームした後、約30秒間はSDメモリーカードにアクセスしないでください。

## ■ カードを取り付ける

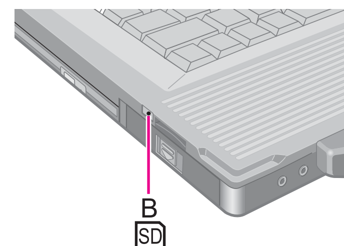
**1** **SDメモリーカードのラベル面を上にして、角が欠けた方から挿入する。**



## ■ カードを取り出す

**準備**

- データを保存し、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- SD メモリーカード状態表示ランプ SD（B）が消えていることを確認してください。

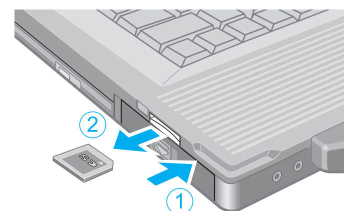



### 1 カードの停止処理を行う。

① 画面右下のタスクトレイの をクリックし、カードを選択して[OK]をクリックする。

- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

### 2 カードを取り出す




① カードを押す。
スロットからカードが出てきます。

② カードをまっすぐ引き抜く。

# RAM モジュール

下記の仕様に適合する RAM モジュールを使用してください。他のモジュールを使うと、正常に動作しないだけでなく、故障の原因になることがあります。

- RAM モジュール仕様：
  200 ピン、SO-DIMM、1.8 V、DDR2 SDRAM、PC2-6400
- 推奨品：
  品番：CF-BAM1024U（推奨品については、当社の最新のカタログやホームページでご確認ください。）

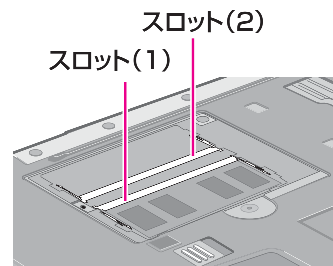
お願い

- RAMモジュールは、静電気の影響を非常に受けやすいため、人間の体内に蓄積された静電気により損傷する場合があります。RAMモジュールの取り付け・取り外しの際には、本体内部の部品や端子に触れないようにし、異物がスロットに入らないようにしてください。機器が破損したり、火災、感電の原因になります。

## RAMモジュールの取り付け／取り外し

本機には RAM モジュールスロットが 2 つあります。

スロット（1）：工場出荷時に RAM モジュールが取り付けられているスロット
スロット（2）：増設 RAM モジュールを取り付けるスロット（機種によっては、工場出荷時に RAM モジュールが取り付けられています。）

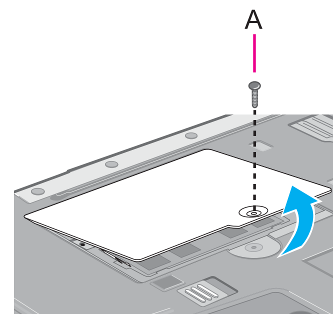



**1** **パソコンの電源を切る。**

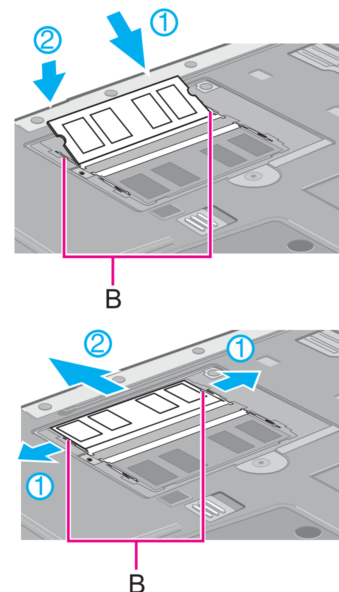
- スリープ機能や休止状態機能は使わないでください。

**2** **ACアダプターとバッテリーパックを取り外す。(****➔19ページ****)**

**3** **パソコン底面のネジ（A）とカバーを取り外す。**



## *4* RAMモジュールを取り付ける／取り外す。




- 取り付けるには

  ① モジュールを少し傾け、スロットに挿入する。

  ② 左右のフック（B）でロックされるまでモジュールを倒す。

- 取り外すには

  ① 左右のフック（B）をゆっくり開く。
  モジュールが持ち上がります。

  ② モジュールをゆっくりとスロットから取り外す。

## *5* カバーとバッテリーパックを取り付ける。

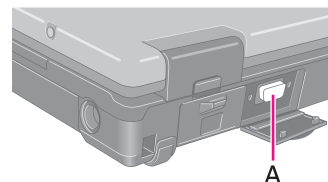
**お願い**

- ネジをしっかり締めて、カバーをきちんと固定してください。

**お知らせ**

- 挿入しにくい、または倒しにくい場合は、無理に力を加えず、モジュールの方向を再度確認してください。
- ネジ山をつぶさないよう、適切なドライバーを使用してください。
- RAMモジュールが正しく認識されている場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューにメインユニットとRAMの合計メモリーサイズが表示されます。（➔91ページ）
  RAMモジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールを取り付け直してください。

画面の表示先を外部ディスプレイに切り替えることができます。
外部ディスプレイを外部ディスプレイコネクター（A）に接続してください。




## お知らせ

- スリープ・休止状態からのリジューム後または再起動後の表示先は、スリープ・休止状態に入る前または再起動前と異なる場合があります。
- Windowsの起動後に表示先を切り替える場合、切り替えが完了するまでキーに触れないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使用してユーザーを切り替えると、表示先をFn+F3で切り替えられなくなることがあります。その場合はすべてのユーザーをログオフし、パソコンを再起動してください。
- スリープ・休止状態のときに、外部ディスプレイを接続したり取り外したりしないでください。
- 接続するディスプレイによっては、表示の切り替えに時間がかかることがあります。
- 外部ディスプレイのみを使用する場合は、内部LCDのみ、または同時表示をする場合とは別に、外部ディスプレイに適した色数、解像度、リフレッシュレートを設定してください。
  設定によっては、外部ディスプレイ画面が乱れたり、マウスカーソルが正しく表示されない場合があります。その場合は設定値を下げてください。
- 同時表示しているときは、DVD-Video、MPEGファイルなどの動画がスムーズに再生されない場合があります。
- 外部ディスプレイの取扱説明書をよくお読みください。
- プラグアンドプレイに対応していない外部ディスプレイを接続する場合は、下記メニューで適切なドライバーを選択するか、外部ディスプレイに付属のドライバーディスクを使用してください。
  ① (スタート) - [コントロールパネル] - [画面の解像度の調整] - [詳細設定] - [モニタ] - [プロパティ ]をクリックする。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。

  ② [ドライバ] - [ドライバの更新]をクリックする。

## お願い

- 外部ディスプレイを取り外す前に、 Fn+F3を押して内部LCDに切り替えてください。切り替えをしないと、取り外す前と後で画質が異なる場合があります（解像度が正しくないなど）。その場合は、 Fn+F3を押して画質をリセットしてください。
- 次の操作を行うと、画面が乱れる場合があります。その場合はパソコンを再起動してください。
  - 高解像度または高リフレッシュレートに設定した外部ディスプレイを取り外す
  - パソコン操作中に外部ディスプレイの接続や取り外しを行う

## 表示先を切り替える

**1** **Fn+F3を押す。**
押すたびに、以下のように切り替わります。
内部LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ

## 拡張デスクトップモードを使う

拡張デスクトップモードでは、内部 LCD と外部ディスプレイをひと続きの作業領域として使うことができます。内部 LCD と外部ディスプレイの両方に渡ってオブジェクトをドラッグすることができます。

**1** **(スタート) - [コントロール パネル] - [画面の解像度の調整]をクリックする。**

**2** **ディスプレイ[2]をクリックし、[デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする]にチェックマークを付け、[適用]をクリックする。**
すでにチェックマークが付いている場合は、いったんチェックマークを外し、再びチェックマークを付けてください。

**3** **各ディスプレイの各項目を設定する。**

**4** **[OK]を選ぶ。**

お知らせ

- アプリケーションソフトによっては、拡張デスクトップモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンをクリックすると、どちらか一方のディスプレイに最大表示されます。最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
- Fnキーの組み合わせを押すと表示されるポップアップウィンドウは、プライマリーデバイスにのみ表示されます。

## USB機器の取り付け／取り外し

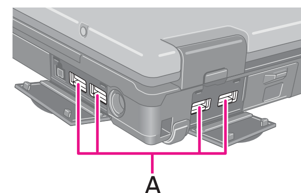
**準備**

ドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。

### ■ USB機器を取り付ける

**1** **カバーを開け、USB機器をUSBポート（A）に接続する。**

詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。




### ■ USB機器を取り外す

**1** **USB機器の停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイのをダブルクリックし、USB機器を選んで[OK]をクリックする。

- 次の場合、この手順は必要ありません。
  - パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
  - が表示されていないとき
  - 手順 ① で、取り外す機器が一覧にないとき

**2** **USB機器を取り外す。**

お知らせ

- USB機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB機器を別のUSBポートに接続し直すときは、ドライバーのインストールが再度必要になる場合があります。
- USB機器が接続されていると、スリープ機能や休止状態機能が正常に働かない場合があります。パソコンが正常に起動しない場合は、USB機器を取り外し、パソコンを再起動してください。
- USB キーボードやマウスを接続した状態でパソコンがスリープまたは休止状態に入ったとき、USB キーボードのキーか、またはマウスに触れると、パソコンはリジュームを実行します。
- パソコンの電源が入っているときにUSB機器を抜き挿しすると、がデバイスマネージャに表示され、機器が正しく認識されないことがあります。その場合は、機器を再度抜き挿しするか、パソコンを再起動してください。
- USB機器が接続されていると、電力消費量が増加します。特にバッテリー駆動で操作しているときは、使用していないUSB機器を取り外しておいてください。

# IEEE1394機器

デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 対応機器を接続することができます。

## ■ IEEE1394機器を接続する

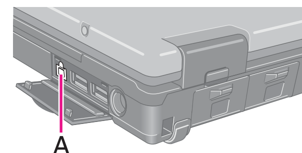
**準備**

ドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。

**1** **パソコンとIEEE1394機器の電源を入れる。**

**2** **カバーを開け、IEEE1394コネクター（A）にIEEE1394機器を接続する。**

詳しくはIEEE1394機器の取扱説明書をご覧ください。




お知らせ

- IEEE1394機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくはIEEE1394機器の取扱説明書をご覧ください。

## ■ IEEE1394機器を取り外す

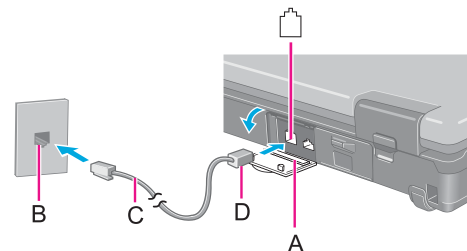
お願い

- 必ずパソコンの電源を切ってからIEEE1394機器の電源を切ってください。

**1** **パソコンの電源を切り、IEEE1394コネクターからケーブルを取り外す。**

**2** **IEEE1394機器の電源を切り、ケーブルを取り外す。**

## 内蔵モデムと電話コンセントを接続する




**1　カバー（A）を開け、モジュラーケーブル（C）を使って、電話コンセント（B）に接続する。**

- 突起部（D）の形がコネクターに合うようにし、カチッと音がするまで挿入してください。

**2　（スタート）- [コントロール パネル] - [インターネットへの接続] - [ダイヤルアップ]をクリックし、必要に応じて設定を変える。**

お知らせ

- 通信中は、スリープ機能や休止状態機能を使わないでください。
- ケーブルを取り外すときは、突起部（D）を押さえたまま引き抜いてください。
- モデムは一般電話回線で使用してください。
- 本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

## モデムリングリジューム機能

モデムに接続した回線に電話がかかると、パソコンがスリープ状態からリジュームします。
この機能を使うには、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアが必要です。また、リジュームした後パソコンをスリープ状態に戻す場合もソフトウェアが必要です。詳しくはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

**1　（スタート）- [すべてのプログラム] - [Windows FAX とスキャン]をクリックする。**

**2　[ツール] - [FAX の設定]をクリックする。**

- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
- ご使用のモデムがデバイス名に表示されているか確認してください。表示されていなければ、[FAX デバイスの選択 ] をクリックして正しいモデムを選択してください。

**3　[デバイスで FAX 呼び出しを受信できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

**4** (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ ] - [デバイス マネージャ ]をクリックする。

- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

**5** [モデム]をダブルクリックし、内蔵モデムをダブルクリックする。

**6** [電源の管理]をクリックし、[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

## ■ パソコンがスリープ状態に戻る時間を設定する

通信が完了していなくても、設定時間が経過するとパソコンはスリープ状態に入ります。[なし]に設定しておくと、通信の途中でスリープ状態に入ることはありませんが、リジュームした後スリープ状態に入りません。

① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[その他の電源オプション] - [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。

② 通信時間を予測して、スリープ状態に戻る時間を設定する。

お知らせ

- パソコンの電源がオフのとき、または休止状態のときは、この機能は使えません。
- AC アダプターを接続してください。
- スリープ状態からリジュームした後も、画面は暗いままです。キーボードまたはフラットパッドに触れると、元の画面が表示されます。
- 内蔵モデムに接続されている電話以外ではリジュームできません。(PCカードモデムなどは使えません。)
- パソコンが起動するのに時間がかかるため、通常より呼び出し時間を長く設定してください。送信側で呼び出し音を長く設定できない場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアで、着信までのベル回数を少なく設定してください。

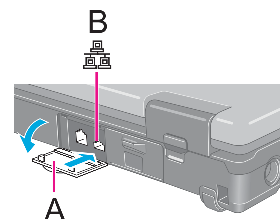
## LANを接続する

**1** **パソコンの電源を切る。**

- スリープ機能や休止状態機能は使わないでください。

**2** **カバー（A）を開けて、ケーブルを接続する。**

LANケーブルを使って、LANコネクター（B）とネットワークシステム（サーバーやハブなど）を接続します。




**3** **パソコンの電源を入れる。**

### ■ ローカルエリア接続の状態を確認する

① (スタート) - [接続先] をクリックし、[すべて]を選択する。

## Power On by LAN機能／Wake Up from LAN機能

お知らせ

- Wake Up from LAN機能を有効にしていると、パソコンがスリープ・休止状態のときやパソコンの電源が切れている状態でも電力を消費します。必ずACアダプターをお使いください。
  Wake Up from LAN機能を使わない場合は、この機能を無効にしてください。（➔60ページ）
- セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合でも、起動やリジュームの際にパスワードの入力は必要ありません。
- 次の場合はPower On by LAN機能は働きません。
  - 電源スイッチを4秒以上押してパソコンの電源を切ったとき（フリーズした後など）
  - ACアダプターとバッテリーパックをいったん取り外し、再度パソコンに取り付けたとき
- スリープ状態からリジュームしたとき、画面は暗いままです。キーボードまたはフラットパッドに触れると、元の画面が表示されます。

## Power On by LAN機能を有効にする

内蔵 LAN コネクター経由でネットワークサーバーからアクセスすると、自動的にパソコンの電源が入ります。

**1** **セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Power On by LAN機能」を「許可」に設定する。(➔93ページ)**

**2** **「[重要] お知らせ」画面で、Enterを押す。**

**3** **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

**4** **コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。**

**5** **(スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ ] - [デバイス マネージャ ]をクリックし、[ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。**

**6** **[プロパティ]の[PMEをオンにする]をクリックし、[値]で[有効]を選択し、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- ネットワーク上の他のパソコンからアクセスがあると、パソコンが起動する場合があります。意図しないパソコンからのアクセスによる起動を防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ ] - [デバイス マネージャ ]をクリックする。
  ② [ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。
    - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。
  ③ [プロパティ]の[Wake on 設定]をクリックし、[値]で[Wake on Magic Packet]を選んで[OK]をクリックする。
- Windowsを強制終了すると、Power ON by LAN機能は働きません。

## Wake Up from LAN機能を有効／無効にする

内蔵 LAN コネクター経由でネットワークサーバーからアクセスすると、パソコンがスリープ状態や休止状態から自動的にリジュームします。
Wake Up from LAN 機能は、次の手順で有効／無効の切換ができます。

**1** **（スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ ] - [デバイス マネージャ ]をクリックする。**

- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

**2** **[ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。**

**3** **[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]と[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]を選び、[OK]をクリックする。**

- 上記 2 つの項目のオン／オフ設定は同時に行うことをお勧めします。

お知らせ

- ネットワーク上の他のパソコンからアクセスがあると、パソコンがリジュームする場合があります。
意図しないパソコンからのアクセスによるリジュームを防ぐには、次の設定を行ってください。
① （スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ ] - [デバイス マネージャ ]をクリックする。
・ 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。
② [ネットワーク アダプタ] - [Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。
③ [このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする] - [管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

# 無線通信をオン／オフする

次の 5 通りの方法で、無線機器のオン／オフをすることができます。

- 無線切り替えスイッチで切り替える（下記）
- 無線切り替えユーティリティを使う（➔62 ページ）
- [ネットワークと共有センター ]の設定を変更する（➔63ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューの設定を変更する（➔93 ページ）

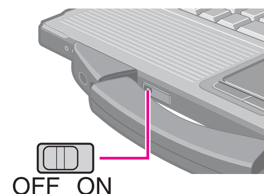
お知らせ

- 無線LANについて詳しくは：（➔63ページ）
- Bluetoothについて詳しくは：（➔67ページ）

## 無線切り替えスイッチで切り替える

### ■ すべての無線通信を無効にするには

**1** **無線切り替えスイッチをOFF側にスライドする。**




### ■ 無線通信を有効にするには

**1** **無線切り替えスイッチをON側にスライドする。**

- 工場出荷時は、無線切り替えスイッチを ON にすると、すべての無線機器が有効になるように設定されています。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティをアンインストールした場合は、あらかじめ無線切り替えスイッチをONの位置にしておいてください。
- 無線切り替えスイッチの入／切を連続して繰り返し行わないでください。
- 無線切り替えスイッチ入／切の直後に、再起動やログオフをしたり、スリープ・休止状態に入ったりしないでください。
- Windowsの起動中は、無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。
- 無線LAN/Bluetoothを使うには
  - セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」／「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔93ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線スイッチ」を「無効」に設定する（➔93ページ）と、画面右下のタスクトレイに無線切り替えユーティリティアイコンが表示されなくなります。すべての無線機器（無線LAN/Bluetooth）は、無線切り替えスイッチの状態とは関係なく、使用できる状態になります。
- 無線切り替えスイッチを切にしてから無線通信がオフになるまで、時間がかかることがあります。
- [デバイス マネージャ]でIEEE802.11a設定を変更すると（➔66ページ）、それにともない状態表示も変わります。

# 無線切り替えユーティリティを使う

無線切り替えユーティリティにより、無線切り替えスイッチの働きの設定ができます。また、画面右下のタスクトレイのアイコンを使って無線接続（無線 LAN/Bluetooth）を有効／無効にすることもできます。

## ■ 無線切り替えユーティリティアイコン

画面右下のタスクトレイに「無線切り替えユーティリティアイコン」が表示され、無線通信の状態を示します。

- : 無線機器がオンのとき
- : 無線機器がオフのとき
- : 無線機器がセットアップユーティリティで無効になっているとき

## ■ 無線機器を個別にオン／オフする

**1** **画面右下の「無線切り替えユーティリティアイコン」をクリックし、ポップアップメニューを表示する。**

**2** **メニューを使って、無線機器のオン／オフを切り替える。**

## ■ 無線切り替えスイッチの働きを選択する

工場出荷時の設定では、無線切り替えスイッチを切にすると、切にする直前の各無線機器のオン／オフの状態が保存されます。再び無線切り替えスイッチを入にすると、無線機器を切にする直前のオン／オフの状態に戻ります。この設定は変更することができます。

**[毎回ダイアログを表示してオンするデバイスを選択する]**
無線切り替えスイッチをONにしたとき「無線切り替えユーティリティ」画面が表示されます。その画面で無線機器ごとにオン／オフを設定し、[OK]をクリックしてください。（オン／オフの設定は、[OK]をクリックするまで有効にはなりません。）

**[以下のデバイスをオンする]**
無線切り替えスイッチをONにしたときにオンにしたい無線機器を選択してください。

**[無線スイッチをオフした時のデバイスの状態に戻す]（工場出荷時の設定）**
無線切り替えスイッチをONにしたとき、最後に無線切り替えスイッチをOFFにしたときのオン／オフ設定が選択されます。

**1** **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（または）をクリックし、[設定]をクリックする。**

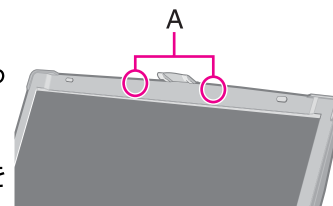
**2** **無線切り替えスイッチに割り当てたい設定を選択する。**

**3** **[OK]をクリックする。**

お願い

- **無線LANを通じてパソコンに無断アクセスされないようにするには**
  無線LANをご使用になる前に、暗号化などのセキュリティ設定を行うことをお勧めします。設定をしないと、共有ファイルなどハードディスク上のデータに無断でアクセスされる危険性があります。

お知らせ




- 通信は無線LANアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使ってユーザーを切り替えた後、無線LANが使えなくなる場合があります。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- 無線LANを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔93ページ）

## 無線LAN機能を使う

無線 LAN をお使いになる前に、無線 LAN 通信をオンにしてください。

### 無線LAN通信をオン／オフする

**1　無線切り替えスイッチをスライドし、無線LANをオン／オフする。(➔61ページ)**

- 無線 LAN をオンにするとき
  無線切り替えスイッチで無線 LAN をオンにできなければ、無線切り替えユーティリティの設定（➔62ページ）を確認してください。無線切り替えユーティリティで無線 LAN をオンにできなければ、次の手順を実行してください。

① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[ネットワークと共有センター ]をクリックする。

② [ネットワーク接続の管理]をクリックする。

③ [ワイヤレス ネットワーク接続]を右クリックし、[有効にする]をクリックする。
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
- [ワイヤレス ネットワーク接続]がすでに有効に設定されているときは、[無効にする]が表示されます。

④ 無線切り替えユーティリティで無線 LAN をオンにする。(➔62ページ)

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティを使わずに、次の手順を実行して無線 LAN をオンにすることもできます。

  ① (スタート) - [コントロールパネル] - [共通で使うモビリティ設定の調整]をクリックする。

  ② [ワイヤレス ネットワーク]で[ワイヤレスをオンにする]をクリックする。
  - ワイヤレスネットワークがすでに有効に設定されているときは、[ワイヤレスをオフにする]が表示されます。
  - 無線切り替えスイッチがオフになっているときは、[ワイヤレスをオンにする]は選択できません。

## 無線 LAN のアクセスポイントを設定する

**準備**

無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書に従って、アクセスポイントがパソコンを認識できるように設定してください。

**1** **無線 LAN をオンにする。**

**2** **画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[ネットワークに接続]をクリックする。**

ご使用のパソコンが別のネットワークに接続されているときは、[接続または切断]をクリックしてください。
[ネットワークに接続]画面が表示されます。

**3** **をクリックしてアクセスポイントを選択し、[接続]をクリックする。**

**4** **設定したアクセスポイントに対応するキーを入力し、パソコンを認識させて[接続]をクリックする。**

パソコンが無線 LAN のアクセスポイントへ接続するまでお待ちください。
[正しく接続しました]が表示されたら、無線 LAN の設定は完了です。
- [このネットワークを保存します]にチェックマークを付けると、パスワード、設定などを保存できます。
- [この接続を自動的に開始します]にチェックマークを付けると、パソコンが自動的にアクセスポイントを検出してインターネットへ接続します。

**5** **[閉じる]をクリックする。**

お知らせ

- 設定内容はネットワーク環境によって異なります。詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。
- アクセスポイントの自動検出を制限するステルスモードでアクセスポイントへ接続するときは、次の手順を実行してください。
  次の手順を実行しないと、アクセスポイントにアクセスできなかったり、[ネットワークに接続]画面にアクセスポイントが表示されなかったりすることがあります。
  ① 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックし、[ネットワークと共有センター]- [接続またはネットワークのセットアップ] - [ワイヤレス ネットワークに手動で接続します]をクリックし、[次へ]をクリックする。
  ② 必要な情報を入力し、[この接続を自動的に開始します]と[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]にチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。
  詳しくはシステム管理者またはネットワーク担当者にお問い合わせください。

## 無線 LAN の規格 IEEE802.11a（802.11a）の設定

無線 LAN の規格 IEEE802.11a（5.2 GHz/5.3 GHz 帯無線 LAN/W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a を無効に設定しておいてください。

**1 画面右下のタスクトレイのまたはをクリックする。**

**2 [802.11a 無効]または[802.11a 有効]をクリックする。**

- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティアイコン（または）は、IEEE802.11a の設定ではなく、無線 LAN／Bluetooth のオン／オフ状態を示しています。
- パソコンが IEEE802.11b/g アクセスポイントに接続されているときに、IEEE802.11a を有効または無効にすると、一時的に通信が途切れることがあります。

- [デバイス マネージャ ]でも IEEE802.11a の設定を変更することができます。
  ① (スタート) - [コンピュータ] - [システムのプロパティ ] - [デバイス マネージャ ]をクリックする。
    - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力します。
  ② [ネットワーク アダプタ]をダブルクリックし、[Intel(R) WiFi Link 5100]をダブルクリックする。
  ③ [詳細設定]をクリックし、[プロパティ ]の[ワイヤレス モード]を選択する。
  ④ [値]で設定値（[5. 802.11a/g]など）を選択する。
  ⑤ [OK]をクリックする。

  無線切り替えユーティリティのポップアップメニューでIEEE 802.11a を有効または無効にすると、[デバイス マネージャ ]の設定により下記のように切り替わります。

| デバイスマネージャの設定 | 無線切り替えユーティリティの設定 | |
|---|---|---|
| | IEEE802.11a が有効のとき | IEEE802.11a が無効のとき |
| [6. 802.11a/b/g]<br>[4. 802.11b/g] | a+b+g が有効 | b+g が有効 |
| [3. 802.11g]<br>[5. 802.11a/g] | a+g が有効 | g が有効 |
| [1. 802.11a]<br>[2. 802.11b] | a が有効 | b が有効 |

# 無線LANネットワークの状態を確認する

**1** **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**
ツールチップが表示されます。

お知らせ

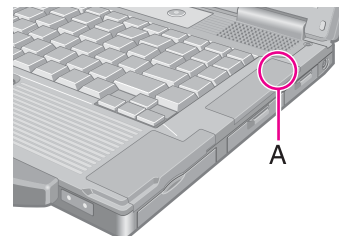
- 無線切り替えユーティリティのアイコン（ と ）は、IEEE802.11aの設定ではなく、無線通信のオン／オフの状態を示しています。
- [デバイス マネージャ]で設定を変更すると、それにともない状態表示も変わります。

# Bluetooth機能

ケーブルを接続しないで、インターネットや他の Bluetooth 機器にアクセスすることができます。

お知らせ

- 通信はBluetoothアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- Bluetoothを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔93ページ）
- Bluetoothのドライバーをアンインストールしたときは、Bluetoothを切にしてください。




## Bluetooth機能を使う

Bluetooth をお使いになる前に、Bluetooth 通信をオンにしてください。

### Bluetooth通信をオン／オフする

**1** **無線切り替えスイッチをスライドし、Bluetoothをオン／オフする。**（➔61ページ）

## Bluetoothの通信状態を確認する

**1** **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**
ツールチップが表示されます

### ■ オンラインマニュアルにアクセスする

**1** **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [ユーザーズ ガイド]をクリックする。**

## ネットセレクター 2でできること

ネットセレクター 2 は、自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合に、接続したネットワークに合わせて設定を切り替えることができるアプリケーションソフトです。
接続先や接続方法が変わると、そのたびに IP アドレスなどの設定を切り替える必要がありますが、ネットセレクター 2 にネットワークの設定を登録しておくと、IP アドレスや使用するプリンターを切り替えることができます。

### ■ ネットセレクター 2の基本機能

Windows には、次のネットワーク管理機能があります。

- 新たに接続されたネットワークを記憶する
- 記憶したネットワークの接続を識別する
- 識別したネットワークに応じたファイアーウォールの設定を適用する

ネットセレクター 2 は、このネットワーク管理機能と連動して、次の動作を行います。

- Windows に記憶されたネットワークに対して、IP アドレスや通常使うプリンターなどの設定データを保存する
- Windows に記憶されたネットワーク [*1] に対して、保存した設定データを適用する [*2]
- LAN ケーブルの抜き挿しによって、無線 LAN の接続を停止 / 再開する [*3]

*1 すべてのネットワークが自動で識別されるわけではありません。識別されない場合は、「識別されていないネットワーク」と表示されます。

*2 Windows が自動識別するネットワークに対しては、自動的に設定データを適用することもできます（オプションの設定：➔87 ページ）。

*3 オプションの設定が必要です（➔87 ページ）。

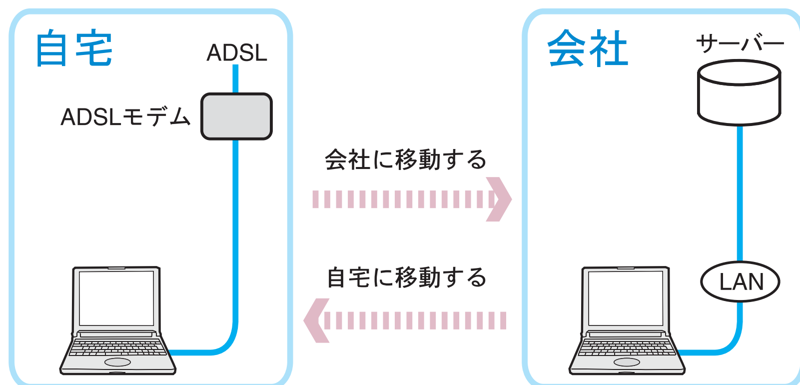
**お願い**

- ネットセレクター 2に登録されるIPアドレスはIPv4のみです。IPv6には対応していません。
- Guestアカウントでは使用できません。

### ■ 複数のネットワークを使い分ける

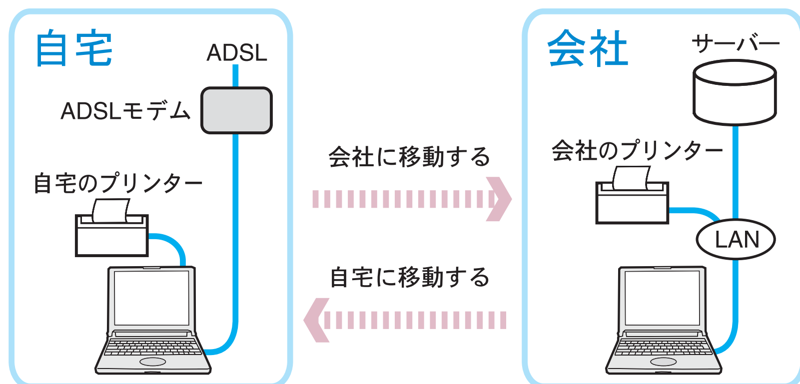
場所によってネットワークへ接続する設定が異なる場合、ネットセレクター 2 に設定を登録しておくことで、簡単に設定を切り替えることができます。

例えば、次の図のように自宅では ADSL、会社では有線 LAN に接続している場合、ネットセレクター 2 で設定を切り替えることができます。どちらも Windows が識別できるネットワークの場合は、オプションの設定（➔87 ページ）をすることにより、自動的に設定を切り替えることもできます。




## ■ 接続するネットワークに合わせて、通常使うプリンターを切り替える

接続するネットワークによって通常使うプリンターが異なる場合、ネットセレクター 2 で通常使うプリンターを切り替えることができます。
どちらも Windows が識別できるネットワークの場合は、オプションの設定（➔87 ページ）をすることにより、自動的に設定を切り替えることもできます。

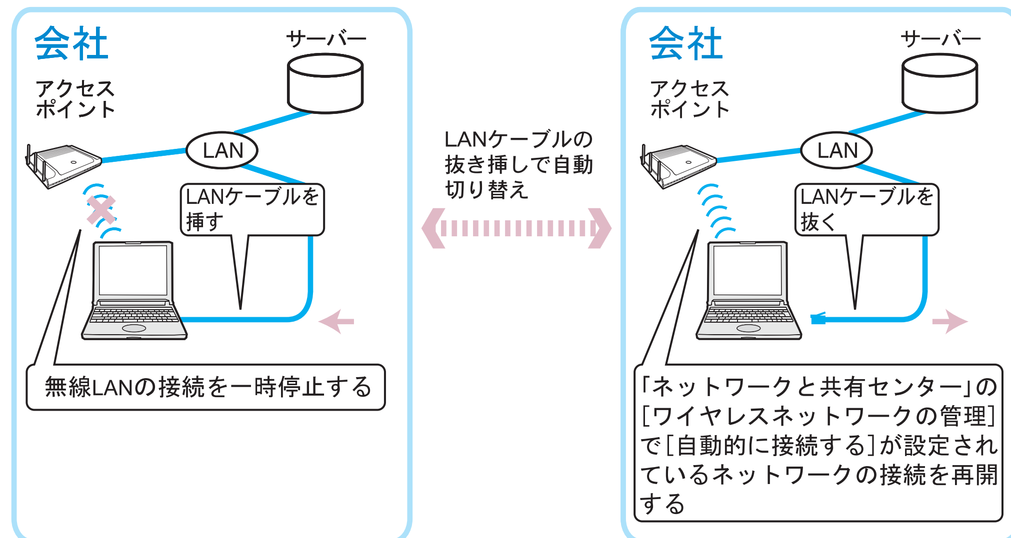



お知らせ

- あらかじめプリンターのドライバーをインストールしておく必要があります。

## ■ LANケーブルの抜き挿しによって、無線LAN接続を停止/再開する

LAN ケーブルを挿すと無線 LAN の接続を一時的に停止させ、LAN ケーブルを抜くと無線 LAN の接続を再開させることができます。
この機能を使うには、オプションの設定が必要です（➔87 ページ）。
**ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみお使いください。**
電波状態が悪い場合は、LAN ケーブルを抜いたときに、無線 LAN で同じネットワークの接続が再開されない場合があります。



# ネットワークの設定を登録する

ネットセレクター 2 を使うには、ネットワークの設定の登録が必要です。

## ■ ネットセレクター 2に登録される設定内容

- ネットワーク名
- IP アドレス
- DNS アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定（自動構成、プロキシサーバー設定）
- 通常使うプリンターの設定

## ■ ネットワークの設定を登録する

**1　Windowsでネットワークの設定を行い、設定したネットワークに接続した状態にする。**

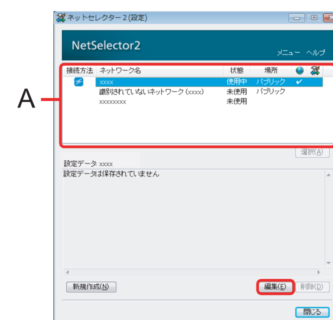
登録するネットワークの設定データを作成してから、登録することもできます（➔72ページ）。

**2　画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定]をクリックする。**

「ネットセレクター 2（設定)」画面は、(ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

通知領域に (ネットセレクター 2）が表示されていない場合は、(スタート) - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ネットセレクター 2] - [ネットセレクター 2]をクリックしてください。通知領域に (ネットセレクター 2）が表示されます。

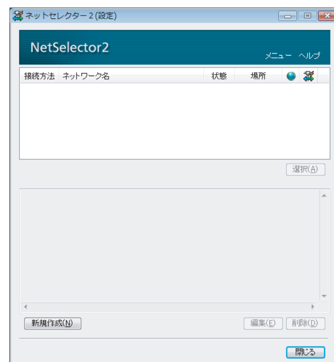
**3 ネットワーク一覧（A）に表示されている接続中のネットワーク（「状態」が「使用中」の項目）から登録したいネットワーク名を選択し、[編集] をクリックする。**




ネットセレクター 2のネットワーク一覧には、次のネットワークが表示されます。

- 現在接続中のネットワーク
- ネットセレクター 2 に設定を登録したネットワーク

接続中のネットワークがなく、ネットセレクター 2に何も登録していない場合は、次の画面が表示されます。

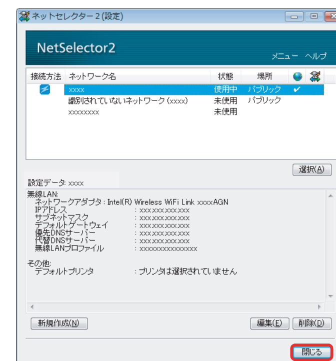



**4 設定内容を登録し、[OK]をクリックする。**

ネットワークの設定がネットセレクター 2に登録されます。
設定内容を変更する場合は、[編集]をクリックして設定内容を編集してください（➔87ページ）。

**5 登録したいネットワークの設定が複数ある場合は、手順1～4（➔71ページ）を繰り返す。**

**6 [閉じる]をクリックする。**



お願い

- ネットセレクター 2では、1つのネットワークに複数の有線LANアダプターまたは複数の無線LANアダプターを使って同時に接続することはできません。
- ネットセレクター 2に登録できる設定データは、1つのネットワークに対して1つです。
  1つのネットワークに対して複数のIPアドレスを登録したり、使用するユーザーごとに設定を登録したりすることはできません。登録した内容は、他のユーザーでも共用されます。
- ネットセレクター 2では、Windowsの [ネットワークと共有センター ] の [カスタマイズ] - [ネットワークの場所を結合または削除します] で設定できる [ネットワークの場所の結合または削除] はサポートしていません。

お知らせ

- 接続中のネットワークの設定を登録または編集する場合、現在のネットワーク設定を取得する処理が行われます(10秒程度)。
- Windowsで自動認識されないネットワークは、「識別されていないネットワーク」と表示され、ネットセレクター 2では最大で8つまで登録できます。「識別されていないネットワーク」に対して複数の設定が登録されている場合は、前回選択された「識別されていないネットワーク」の設定が適用されます。他の設定に切り替える場合は、手動で選択してください(接続中の「識別されていないネットワーク」が複数ある場合は、ネットセレクター 2で操作することはできません)。

## ネットワークの設定データを作成/適用する

現在接続しているネットワークの設定の登録とは別に、接続に適用する IP アドレスや通常使うプリンターなどの設定をデータとして作成することができます。
作成した設定は、後からネットワークに接続して適用することができます。

### ■ ネットワークの設定データを作成する

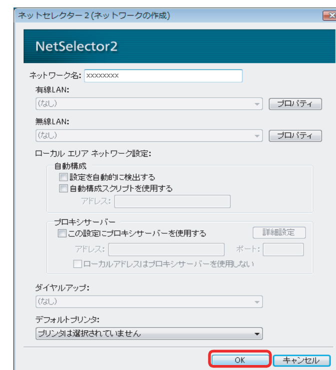
**1　画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2)を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2(設定)」画面は、 (ネットセレクター 2)をダブルクリックしても表示できます。

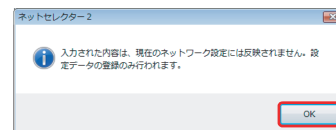
**2** **[新規作成]をクリックする。**



**3** **設定内容を入力し、[OK]をクリックする。**



**4** **[OK]をクリックする。**
ネットワークの設定が作成されます。
設定内容を変更する場合は、「ネットセレクター 2（設定）」画面で[編集]をクリックしてください（➔87ページ）。



**5** **作成したいネットワークの設定が複数ある場合は、手順2～4を繰り返す。**

**6** **[閉じる] をクリックする。**

お願い

- 上記手順では、ネットワークに接続するための設定データが作成されただけで、この設定データでネットワークに接続することはまだできません。接続するには、次の手順でネットワークに設定データを適用してください。

## ■ ネットワークの設定データを適用する

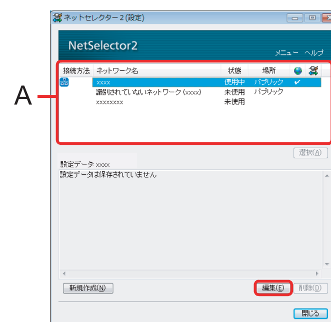
作成した設定データを、接続中のネットワークに適用します。

**1** **適用したいネットワークに接続する。**

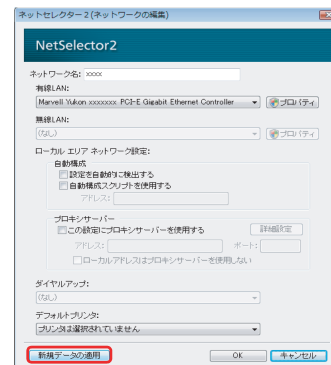
**2** **画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、 (ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

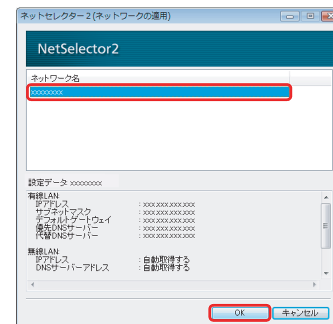
**3** **ネットワーク一覧（A）に表示されている接続中のネットワーク（「状態」が「使用中」の項目）を選択し、[編集]をクリックする。**




**4** **[新規データの適用]をクリックする。**

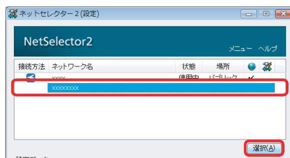


## 5 適用する設定データをクリックし、[OK] をクリックする。




### お知らせ

- 次の方法でも、作成したネットワークの設定を適用することができます。
  ① 画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2) を右クリックし、[設定] をクリックする。
  「ネットセレクター 2(設定)」画面は、 (ネットセレクター 2) をダブルクリックしても表示できます。
  ②「ネットセレクター 2(設定)」画面で、作成した設定データを選択し、[選択] をクリックする。
  作成した設定データの の項目にチェックマークが付き、設定データに従ってシステムのネットワーク設定(IPアドレスや、デフォルトゲートウェイなど)が変更されます。




  ③ ネットワークに接続する。
  手順②で選択した設定データを使って接続するネットワークに接続してください。
  変更されたシステムのネットワーク設定が接続中のネットワークに反映されます。
  ④「ネットセレクター 2(設定)」画面で、接続中のネットワーク(「状態」が「使用中」の項目)を選択し、[編集] をクリックする。
  ⑤ 設定内容を登録し、[OK] をクリックする。
  ⑥ [閉じる] をクリックする。

# 画面の各部の名称と働き

ネットセレクター 2 にネットワークの設定を登録（➔71 ページ）すると、次の画面が表示され、設定の切り替えや編集ができます。

## ■「ネットセレクター 2（設定）」画面

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックして [設定] をクリックするか、 (ネットセレクター 2）をダブルクリックすると表示されます。




A. ネットワーク一覧
現在接続しているネットワークと設定が登録されているネットワーク、設定データが表示されます。インターネットに接続中のネットワークは の項目にチェックマークが付きます。設定を切り替えた場合（➔82ページ）などで最後に適用されたネットワークの登録には の項目にチェックマークが付きます。

[接続方法] の項目には、現在使用中のネットワークの接続方法がアイコンで表示されます。未使用のネットワークと設定データには表示されません。
：有線LANで接続中
：無線LANで接続中
：ダイヤルアップで接続中

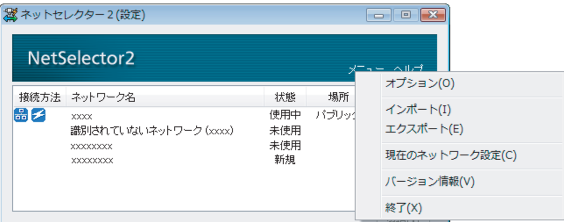
B. [選択]
ネットワーク一覧（A）に表示されている項目を選択した後にクリックすると、選択している項目の設定に切り替わります。項目を選択していない場合はグレーで表示され、クリックできません。

C. [編集]、[削除]
ネットワーク一覧（A）に表示されている項目を選択した後にクリックします。
[編集] をクリックすると、選択したネットワークの設定を登録／編集する画面が表示されます。
ネットワーク一覧（A）で何も選択していない場合はグレーで表示され、クリックできません。

[削除] をクリックすると、選択したネットワークの設定がネットセレクター 2から削除されます。設定を登録したネットワークや作成した設定データが選択されていない場合はグレーで表示され、クリックできません。

D. [新規作成]
クリックすると、ネットワークの設定データを作成する画面が表示されます。

E. [メニュー ]
クリックすると、次の画面のように各メニューが表示されます。
[終了] をクリックするとネットセレクター 2 が終了し、画面右下の通知領域から (ネットセレクター 2）が消えます。
ネットセレクター 2を再起動するには、 (スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ネットセレクター 2] - [ネットセレクター 2] をクリックしてください。画面右下の通知領域に (ネットセレクター 2）が表示されます。



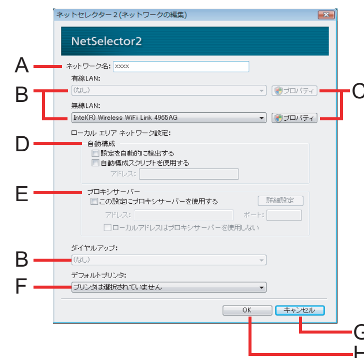

F. 登録した設定データの内容
選択したネットワークの設定内容が表示されます。ネットワークの設定を登録していない場合は、「設定データは保存されていません」と表示されます。

G. [閉じる]
「ネットセレクター 2（設定)」画面を閉じます。

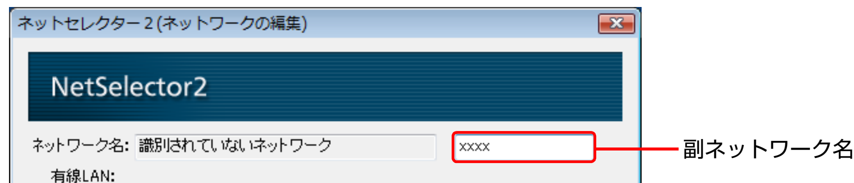
## ■「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」/「ネットセレクター 2（ネットワークの作成）」画面

- 「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面を表示させるには、「ネットセレクター 2（設定）」画面でネットワーク一覧に表示されているネットワークまたは設定データをクリックし、[ 編集 ] をクリックします。
- 「ネットセレクター 2（ネットワークの作成）」画面を表示するには、「ネットセレクター 2（設定）」画面で [新規作成] をクリックします。

A. [ネットワーク名]
ネットセレクター 2に登録するネットワーク名を入力します。ネットワーク名は自由に入力することができます。
入力前は、Windowsが自動的に設定したネットワーク名が表示されます。
新規作成の場合は何も入力されていません。




ただし、「識別されていないネットワーク」と表示されている場合は変更できません。
この場合は、副ネットワーク名を入力して登録を行い、区別してください。
副ネットワーク名は自由に入力することができます。




B. ネットワークアダプターリストボックス
ネットワークの接続に使用しているか、またはネットワークの設定に登録されている有線LAN/無線LAN のネットワークアダプターとダイヤルアップ名を表示します。
現在接続に使用しているネットワークアダプターと登録されているネットワークアダプターが異なる場合は、接続に使用しているネットワークアダプターが表示されます。

C. [プロパティ ]
IPアドレスなどの設定画面が表示されます。ネットワークの接続にIPアドレスなどが必要な場合に入力します。初めて登録する場合は、Windowsのネットワークの設定で入力したIPアドレスが入力されています。
新規作成の場合は、IPアドレスとDNSサーバーのアドレスを自動的に取得するように設定されています。
新規作成したデータを編集する場合は、作成時に設定した内容が入力されています。
標準ユーザーでログオンしている場合、入力には管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードが必要です。
[OK] をクリックすると、入力した内容が現在使用しているネットワークに反映されます。変更前の設定は [OK] をクリックした時点で上書きされるため、変更前のネットワーク設定を継続してお使いになる場合は、あらかじめネットセレクター 2に登録しておくか、メモに残すなどしてください。
ネットセレクター 2に登録する場合は、「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面で [OK] をクリックしてください。

D. [自動構成]
IPアドレスを自動で割り当てる場合は、[設定を自動的に検出する] にチェックマークを付けます。また、IPアドレスの自動割り当てにスクリプトを使用する場合は、[自動構成スクリプトを使用する] にチェックマークを付け、[アドレス] 欄に自動構成スクリプトのアドレスを入力します。

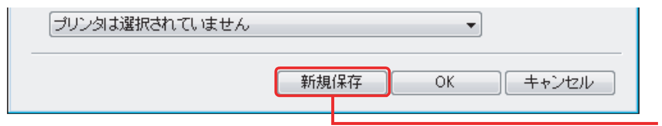
E. [プロキシサーバー ]
プロキシサーバーを利用する場合は [この設定にプロキシサーバーを使用する] にチェックマークを付け、プロキシサーバーのアドレスとポートを入力します。[詳細設定] をクリックすると、「ネットセレクター 2（プロキシサーバー詳細設定）」画面（➔81ページ）が表示されます。
初めて登録する場合は、Windowsのネットワークの設定で入力したアドレスとポートが入力されています。
新規作成の場合は何も入力されていません。

F. [デフォルトプリンタ]
選択したネットワークで通常使うプリンターを設定します。
通常使うプリンターを切り替えない場合は、[プリンタは選択されていません] を選択します。

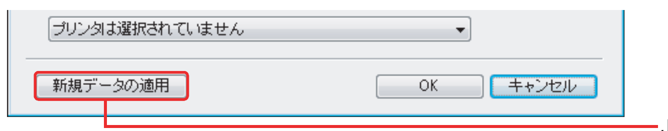
G. [キャンセル]
ネットワークの設定を登録せずに、画面を閉じます。

H. [OK]
ネットワークの設定が登録されます。

I. [新規保存]
「識別されていないネットワーク」の設定が1個〜7個登録されているとき表示されます。「識別されていないネットワーク」に対して、新規にネットワーク設定が登録されます。



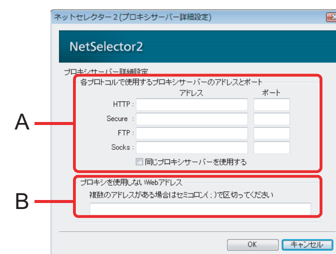

J. [新規データの適用]
「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面で設定データを作成している場合にのみ表示されます。作成した設定データを接続中のネットワークに適用します。




## ■「ネットセレクター 2（プロキシサーバー詳細設定）」画面

画面を表示させるには、「ネットセレクター 2（ネットワークの編集）」画面または「ネットセレクター 2（ネットワークの作成）」画面で、[この設定にプロキシサーバーを使用する] にチェックマークを付け、[詳細設定] をクリックします。

A. [各プロトコルで使用するプロキシサーバーのアドレスとポート]
HTTPやFTPなどの各プロトコルで使用するプロキシサーバーのアドレスとポートを個別に設定できます。
[同じプロキシサーバーを使用する] にチェックマークを付けると、すべてのプロトコルに同じアドレスとポートを設定します。会社のネットワーク管理者から設定の指示などがある場合は、その指示に従ってください。




B. [プロキシを使用しないWebアドレス]
ローカルアドレスなど、プロキシサーバーを使用しないで接続するWebアドレスを入力します。
会社で接続する場合の詳しい設定方法は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。ネットワークの設定を切り替える

# ネットワークの設定を切り替える

## 1 切り替えたいネットワークに合わせて準備をする。

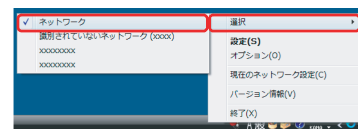
- 接続方法を有線 LAN へ切り替える場合
  LAN ケーブルの突起部を本機の LAN コネクターの向きに合わせて挿し込み、もう一方をハブやルーター、ADSL モデムなどに接続してください。
- 接続方法を無線 LAN へ切り替える場合
  本機の無線切り替えスイッチを右（ON 側）へスライドしてください。
- 接続方法を電話回線へ切り替える場合
  ①モジュラーケーブル（市販品）の突起部をモデムコネクターの向きに合わせて挿し込み、もう一方を電話コンセントに挿し込む。
  ②通知領域のを右クリックし、[ネットワークに接続]をクリックする。
  ③ダイヤルアップ接続を選択し、[接続]をクリックする。

お知らせ

- Windowsやネットセレクター 2の設定によっては、ケーブルを挿し込んだり無線切り替えスイッチをオンにしたりするだけで、ネットワークに接続できる場合もあります。
- ネットセレクター 2では、ダイヤルアップ接続の起動は行いません。

## 2 画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックする。

## 3 [選択] をクリックし、接続したい登録済みのネットワーク名または作成した設定データをクリックする。




選択したネットワークの登録内容（IPアドレスや使用するプリンターなど）に切り替わります。
また、次の方法でもネットワークの設定を切り替えることができます。

① 画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）をダブルクリックする。
② 「ネットセレクター 2（設定）」画面のネットワーク一覧に表示されている項目から接続したいネットワーク名を選択し、[選択] をクリックする。
③ [閉じる] をクリックする。

# 現在のネットワークの設定を確認する

現在のネットワークの設定を確認することができます。

**1** **画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[現在のネットワーク設定] をクリックする。**
設定の表示に数秒程度かかる場合があります。

**2** **内容を確認し、[閉じる] をクリックする。**

また、次の手順でも確認できます。

① 画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）をダブルクリックする。
② 「ネットセレクター 2（設定)」画面の [メニュー ] - [現在のネットワーク設定] をクリックする。

# 登録したネットワークの設定を変更/削除する

ネットセレクター 2 に登録したネットワークの設定内容を変更したり、プロバイダーを変更して使用しなくなったネットワークの設定を削除したりすることができます。

## ■ ネットワークの設定を変更する

**1** **画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定]をクリックする。**
「ネットセレクター 2（設定)」画面は、 (ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示されます。

**2** **設定を変更したいネットワーク名をクリックし、[編集]をクリックする。**

**3** **設定内容を変更し、[OK] をクリックする。**
- 変更した設定内容が反映されます。
- 「識別されていないネットワーク」に対して複数の登録を行いたい場合は、[新規保存] をクリックしてください。

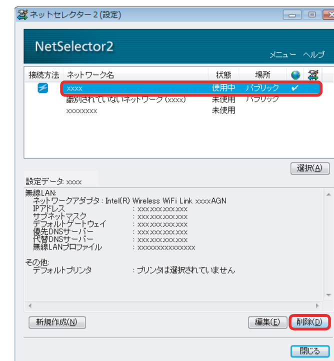
**4** **[閉じる]をクリックする。**

## ■ ネットワークの設定を削除する

**1** **画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2（設定）」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示されます。

**2** **削除したいネットワーク名をクリックし、[削除] をクリックする。**




**3** **「設定データを消去してよろしいですか？」という画面で、[はい] をクリックする。**

**4** **他の設定も削除する場合は、手順 *2*～*3* を繰り返す。**

**5** **[閉じる]をクリックする。**

# 登録したネットワークの設定をバックアップ/復元する

ネットワークの設定を誤って変更した場合、ネットワークの設定を再び行うのは大変な作業です。
ネットセレクター 2 のエクスポートとインポート機能を使うと、ネットワークの設定をバックアップしたり、復元したりすることができます。個々に再設定する必要はありません。

**お願い**

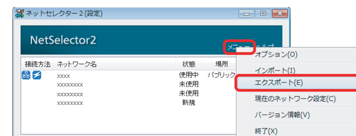
- 次のような場合に備えて、ネットワークの設定をバックアップしておくことをおすすめします。
  - パソコンの買い換えなどで、今まで使っていたパソコンのネットワーク設定をそのまま新しいパソコンで使いたいとき
  - Windows を再インストールするとき
  - 設定を誤って変更してネットワークに接続できなくなった場合など、元の設定に戻したいとき

## ■ ネットワークの設定をバックアップする

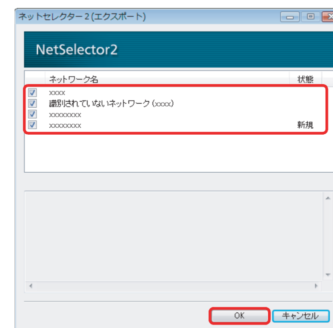
*1* **画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター 2（設定)」画面は、 (ネットセレクター 2）をダブルクリックしても表示できます。

*2* **[メニュー ] をクリックし、[エクスポート] をクリックする。**




*3* **エクスポートする設定データをクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。**




*4* **「名前を付けて保存」画面でファイル名を入力し、[保存] をクリックする。**

同じネットワーク名の設定データがある場合は、確認の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。
「ネットセレクター 2（設定)」画面に戻ります。

*5* **[閉じる] をクリックする。**

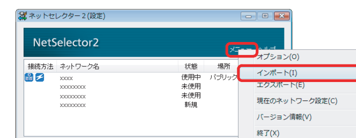
*6* **手順*4*で保存したデータを、SDメモリーカードなどにコピーする。**

## ■ ネットワークの設定を復元する

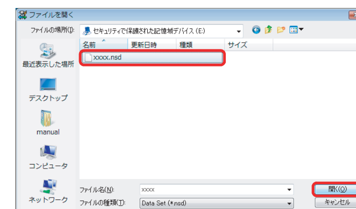
*1* **画面右下の通知領域にある (ネットセレクター 2）を右クリックし、[設定] をクリックする。**

「ネットセレクター２（設定）」画面は、(ネットセレクター２）をダブルクリックしても表示できます。

**2　[メニュー ] をクリックし、[インポート] をクリックする。**

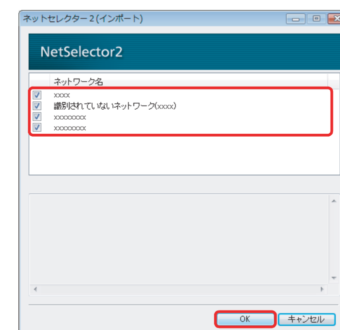



**3　インポートするファイルを選択し、[開く] をクリックする。**




**4　インポートする設定データをクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。**

インポートしない設定データは、クリックしてチェックマークを外してください。
同じネットワーク名の設定データがある場合は、確認の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。
「ネットセレクター２（設定）」画面にネットワークの設定が追加されます。




**5　[閉じる] をクリックする。**

お知らせ

- 復元する設定と同じ名前の設定がネットセレクター 2に登録されている場合は、復元する設定の名前に（2）、（3）と番号が自動的に割り当てられます。

復元したネットワークの設定を適用する場合は、「ネットワークの設定データを適用する」の手順 *1*（➔75 ページ）をご覧ください。

## オプションの設定をする

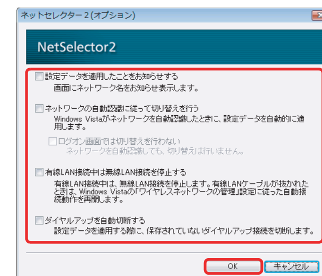
ネットセレクター 2 のオプション画面では、ネットワークの設定を切り替えたときにお知らせを表示したり、有線 LAN で接続したときに無線 LAN を自動的に切断したりするなどの設定ができます。

オプションは次の手順で設定します。

**1** **画面右下の通知領域にある（ネットセレクター 2）を右クリックし、[オプション] をクリックする。**

「ネットセレクター 2（オプション)」画面は、（ネットセレクター 2）をダブルクリックし、「ネットセレクター 2（設定)」画面の [メニュー ] - [オプション] をクリックしても表示できます。

**2** **設定したい項目をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックする。**




初期設定は、すべてオフに設定されています。
各項目の説明に従って、お使いの接続環境に合わせて設定してください。
オプションの設定は、登録されているすべてのネットワークの設定に適用されます。

- **ネットワークの設定が切り替わったことを知らせてほしい場合**
  [設定データを適用したことをお知らせする] をクリックしてチェックマークを付けてください。
  登録しているネットワークの設定に切り替えたとき、画面右下の通知領域にネットワーク名が表示され、設定が切り替わったことをお知らせします。
- **自動的にネットワークの設定を切り替えたい場合**
  - [ ネットワークの自動認識に従って切り替えを行う ] をクリックしてチェックマークを付けてください。
    ネットセレクター 2 に登録しているネットワークを Windows が自動認識した場合、自動的に登録した内容を設定します。
    設定はネットワークの状況が変化したときに行われます。お使いの環境で頻繁にネットワークの状況が変化する場合、設定の切り替えが頻繁に発生してしまうことがあります。
    **この機能は、ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみお使いください。**
  - [ ログオン画面では切り替えを行わない ] をクリックしてチェックマークを付けると、Windows 起動直後のログオン画面や、Windows からログオフした後に表示されるログオン画面では、登録された内容を自動で設定しません。
    ログオンしているユーザーがいる場合は、ログオン画面でも登録された内容が自動的に設定され、接続するネットワークの設定が切り替わります。

- **無線 LAN で接続中のネットワークに有線 LAN で接続したとき、自動的に無線 LAN を停止したい場合**
  - [ 有線 LAN 接続中は無線 LAN 接続を停止する ] をクリックしてチェックマークを付けてください。
    この機能は、「ネットワークと共有センター」の [ ワイヤレスネットワークの管理 ] で [ 自動的に接続する ] が設定されているワイヤレスネットワークに使用できます。
  - LAN ケーブルを接続したとき、無線 LAN を一時的に停止します。LAN ケーブルを抜いたとき、無線 LAN の接続を再開しようとします。
    無線 LAN の再構築については、ワイヤレスネットワークの「自動的に接続する」の設定が反映されます。
    「自動的に接続する」が無効になっている場合は、自動的に接続は再開されません。

  電波状態が悪い場合などは、無線LAN で同じネットワークに再接続されない場合があります。**ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみ、この機能をお使いください。**

- **ネットワークの設定を切り替えたときに自動的にダイヤルアップ接続を切断したい場合**
  - [ ダイヤルアップを自動切断する ] をクリックしてチェックマークを付けてください。
    ネットワークの設定を切り替えたとき、設定にダイヤルアップ接続が登録されていない場合は自動的にダイヤルアップ接続を切断します。
    ただし、再度ダイヤルアップで接続する場合は、手動で接続する必要があります（自動的に接続は再開されません）。

お願い

- 次の機能は、ご使用のネットワーク環境に適していると判断された場合のみお使いください。
  - [ネットワークの自動認識に従って切り替えを行う] 機能
  - [有線LAN接続中は無線LAN接続を停止する] 機能
- [有線LAN接続中は無線LAN接続を停止する] が設定されている場合
  - 無線LANの停止/再開はインフラストラクチャモードの無線LANに対して行われます。
- 次の場合、ネットワークの設定を手動で切り替えてください。
  - IPアドレスが固定アドレスの場合（[IPアドレスを自動的に取得する] に設定していない場合）
  - デフォルトゲートウェイアドレスを設定しないネットワークに接続する場合
  - 別々のネットワークに接続可能なアクセスポイントが利用可能な範囲にあり、現在使用中の無線LANのIPアドレスが固定アドレスに設定されている場合
- [ネットワークの自動認識に従って切り替えを行う] にチェックマークが付いている場合
  - ネットワークの自動認識をより行いやすくするために、ネットワークが切断された際に、有線LANおよび無線LANのIPアドレスの設定を [IPアドレスを自動的に取得する] に変更する場合があります。
- 有線LAN/ 無線LANのネットワークアダプターがデバイスマネージャーで無効になっている場合は、登録された設定に切り替わりません。

# ハードディスクドライブの取り付け／取り外し

ハードディスク内の重要なデータの流出を防ぐために、ハードディスクドライブを取り外すことができます。

お願い

- 重要なデータは、ハードディスクドライブを取り外す前に必ずバックアップを取っておいてください。
- 修理その他の目的で、別のパソコン上でハードディスクのデータを読み込む必要がある場合は、ハードディスクドライブを取り外す前に、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「ハードディスク保護」を「無効」に設定してください。（➔95ページ）
- ハードディスクドライブは衝撃に非常に弱いため、取り付け／取り外しを行う際には十分に注意してください。また、静電気によって内部の部品が故障する可能性があります。

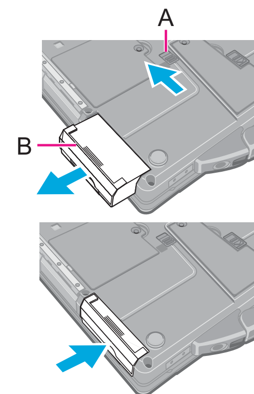
**1** **パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。**

- スリープ機能や休止状態機能は使わないでください。

**2** **バッテリーパックを取り外す。（➔19ページ）**

**3** **ハードディスクドライブを取り付ける／取り外す。**

- 取り外すには
  ラッチ（A）をスライドして、カバー（B）をゆっくりと引き抜く。
  ハードディスクドライブはカバーの裏側に付いています。




- 取り付けるには
  カチッと音がするまでハードディスクドライブを挿し込みます。

**4** **バッテリーパックを取り付ける。（➔20ページ）**

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にハードディスクドライブが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。
- お使いの際には必ずハードディスクドライブを取り付けてください。

お知らせ

- ハードディスクドライブを取り外す前に、データを消去することができます。（➔106ページ）
- セットアップユーティリティの「情報」メニューで、ハードディスクが認識されているかどうか確認できます。（➔91ページ）ハードディスクが認識されていない場合は、パソコンの電源を切って、再度取り付けてください。

パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）をすることができます。

## セットアップユーティリティを起動する

**1** **パソコンの電源を入れる、または再起動する。**

**2** **パソコンの起動後すぐ、[Panasonic]起動画面が表示されている間にF2 または Del を押す。**

[パスワードを入力してください]が表示されたら、パスワードを入力してください。

スーパーバイザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- 次のようになります。
  - 「詳細」および「起動」メニューでは、すべての項目の設定を変更できません。
  - 「セキュリティ」メニューでは、「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されている場合に、ユーザーパスワードのみ変更できます。ユーザーパスワードを削除することはできません。
  - 「終了」メニューでは、「デフォルト設定」および「デバイスを指定して起動」の設定はできません。
  - F9（デフォルトの設定）は使えません。

# 情報メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

| | |
|---|---|
| 言語（Language） | English<br>日本語（Japanese） |

**製品情報**

| | |
|---|---|
| 機種品番<br>製造番号 | パソコン情報<br>（変更はできません） |

**システム情報**

| | |
|---|---|
| プロセッサータイプ<br>プロセッサースピード<br>メモリーサイズ<br>使用可能メモリー<br>VRAM サイズ<br>ハードディスク | パソコン情報<br>（変更はできません） |

**BIOS 情報**

| | |
|---|---|
| BIOS<br>電源コントローラー<br>累積使用時間<br>アクセスレベル | パソコン情報<br>（変更はできません） |

# メインメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

| | |
|---|---|
| システム日付<br>• 年／月／日<br>• Tab でカーソルの移動ができます。 | [xxxx/xx/xx] |
| システム時間<br>• 24 時間制です。<br>• Tab でカーソルの移動ができます。 | [xx:xx:xx] |

メイン設定

| | |
|---|---|
| フラットパッド | 無効<br>有効 |
| ディスプレイ<br>• Windows が起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、「外部ディスプレイ」を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。 | 外部ディスプレイ<br>内部 LCD<br>同時表示 |
| 環境 | 常温<br>高温<br>自動 |
| 現在の状態<br>•「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。 | バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。 |

# 詳細メニュー

CPU Configuration　　下線は工場出荷時の設定です。

| | |
|---|---|
| データ実行防止機能<br>・「有効」にすると、ハードウェアデータ実行防止（DEP）機能が有効になります。 | 無効<br>有効 |
| Core Multi-Processing | 無効<br>有効 |
| Intel(R) Virtualization Technology | 無効<br>有効 |

周辺機器設定

| | |
|---|---|
| 光学ドライブ | 無効<br>有効 |
| シリアルポート | 無効<br>有効 |
| LAN | 無効<br>有効 |
| Power On by LAN 機能<br>・「LAN」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。<br>・[Power On by LAN 機能 ] を使うには、[ デバイス マネージャ ] でも設定が必要です。（➔58 ページ） | 禁止<br>許可 |
| 無線 LAN | 無効<br>有効 |
| Bluetooth | 無効<br>有効 |
| 無線スイッチ | 無効<br>有効 |
| モデム | 無効<br>有効 |
| Express Card スロット | 無効<br>有効 |
| PC カードスロット | 無効<br>有効 |
| SD スロット | 無効<br>有効 |
| IEEE1394 ポート | 無効<br>有効 |
| USB ポート | 無効<br>有効 |

| | |
|---|---|
| レガシー USB | 無効<br>有効 |

# 起動メニュー

**起動オプション優先度**

| | |
|---|---|
| 起動オプション #1<br>起動オプション #2<br>起動オプション #3<br>起動オプション #4<br>起動オプション #5<br>起動オプション #6 | USB フロッピー [*1]<br>ハードディスク<br>CD/DVD ドライブ<br>LAN<br>USB ハードディスク<br>USB CD/DVD ドライブ |

## ■ 起動順位を変更するには

工場出荷時の起動順位は「USB フロッピー [*1]」→「ハードディスク」→「CD/DVD ドライブ」→「LAN」→「USB ハードディスク」→「USB CD/DVD ドライブ」です。

- 変更したい起動デバイス上で **Enter** を押し、起動デバイスを下記のメニューから選んでください。
  - 新たに選択した起動デバイスが、すでに「起動オプション (#1 ～ #6)」のいずれかにある場合、元の起動デバイスと、新たに選択した起動デバイスの起動順位が入れ替わります。
  - 以下のメニューで「無効」を選んだ場合、無効になった「起動オプション」は認識されず、その次の起動デバイスが作動します。

| |
|---|
| ハードディスク<br>CD/DVD ドライブ<br>LAN<br>USB フロッピー [*1]<br>USB ハードディスク<br>USB CD/DVD ドライブ<br>無効 |

[*1] 当社製 USB フロッピーディスクドライブ（別売り：CF-VFDU03U）

# セキュリティメニュー

**起動時の表示設定**　　下線は工場出荷時の設定です。

| | |
|---|---|
| Setup Utility 表示<br>•「Setup Utility 表示」が「無効」になっていると、[Press F2 for Setup/F12 for LAN] というメッセージが [Panasonic] 起動画面に表示されません。ただし、メッセージが表示されなくても **F2** と **F12** は働きます。 | 無効<br>有効 |
| 起動時のパスワード | 無効<br>有効 |
| スーパーバイザーパスワード設定 | サブメニュー表示 |
| ハードディスク保護<br>•「スーパーバイザーパスワード設定」が設定されているときのみ変更できます。 | 無効<br>有効 |
| ユーザーパスワード保護 | 保護する<br>保護しない |
| ユーザーパスワード設定 | サブメニュー表示 |
| ▶ 内蔵セキュリティ（TPM）<br>• 内蔵セキュリティ（TPM）内蔵モデルのみ<br>• 詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。(スタート)をクリックし、[検索の開始] に 「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力して、 **Enter** を押してください。 | サブメニュー表示 |

# 終了メニュー

| | |
|---|---|
| 設定を保存して再起動 | 設定内容を保存して再起動する |
| 設定を保存しないで再起動 | 設定内容を保存せずに再起動する |

**保存オプション**

| | |
|---|---|
| 設定を保存する | 設定内容を保存する |
| 設定を戻す | 設定内容を変更前の設定に戻す |
| デフォルト設定 | 工場出荷時の設定に戻す |

**デバイスを指定して起動**

| | |
|---|---|
| (デバイス情報) | 次の起動時にのみ作動するデバイスを選択する |

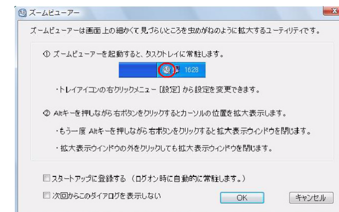
| | |
|---|---|
| ▶ コンピュータの修復 | システム回復ツールを実行する |

# ズームビューアー



画面の一部を拡大することができます。

## ズームビューアーを起動する




**1** （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ズームビューアー ]をクリックする。

**2** [OK]をクリックする。

● 画面右下のタスクトレイに が表示されます。

## ズームビューアーを使う

**1** 画面上の拡大したい部分にカーソル を合わせる。

**2** **Alt**を押したまま右クリックする。

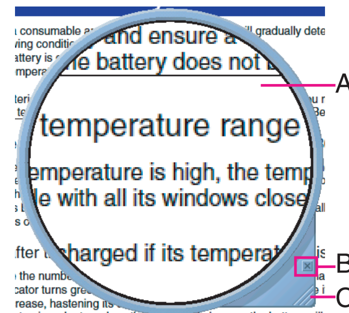
● カーソルを合わせた部分が拡大されます。

● をダブルクリックするか、 を右クリックし [表示する] をクリックしても拡大できます。

**3** 拡大表示ウィンドウ（A）をドラッグして、拡大表示される部分を動かす。

● 拡大表示ウィンドウを非表示にするには、 (非表示ボタン)（B）をクリックする。
または、拡大表示ウィンドウの範囲外でクリックするか、 **Alt** を押したまま右クリックしてください。

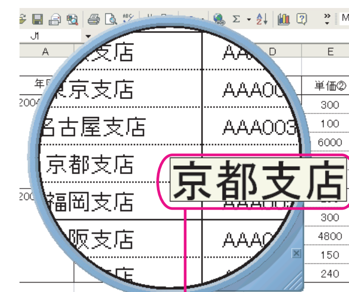
● 拡大表示ウィンドウのサイズを変更するには、右下の隅（C）をドラッグしてください。
拡大／縮小できるサイズの範囲は、画面の解像度により異なります。




### お知らせ

● 拡大表示ウィンドウの中のテキストや画像は、拡大表示された瞬間（例：**Alt**を押したまま右クリックした瞬間）のものになります。元の画面で変更した内容を拡大表示ウィンドウに反映するには、拡大表示ウィンドウをクリックしてください。

● アプリケーションソフトによっては、ズームビューアーが働かない場合があります。

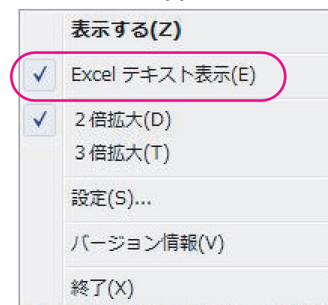



## ■ Excelのセルの文字を拡大表示するには

拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字を、テキスト表示ウィンドウ（A）に大きく表示することができます。

① 画面右下のタスクトレイの を右クリックする。

② [Excelテキスト表示]にチェックマークを付ける。
- 工場出荷時はチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すと、テキスト表示ウィンドウは表示されません。



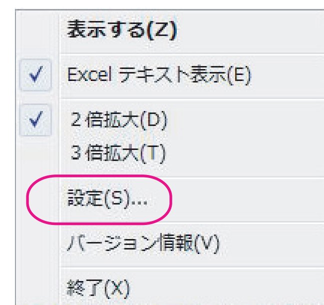

お知らせ

- 次の場合、テキスト表示ウィンドウは表示されません。
  - お使いのExcelが、Microsoft® Excel 2000／Microsoft® Excel 2002／Microsoft® Office Excel 2003よりも前のバージョンの場合
（上記よりも前のバージョンには対応していません。）
  - セル以外（テキストボックス、コメント、グラフなど）の文字の場合
  - 印刷プレビュー画面の場合
  - テンプレートを使用してファイルを新規作成し、そのファイルを保存していない状態（保存するとテキスト表示ウィンドウが表示されます。）
- 複数のウィンドウで、同じ名前のファイルを開いているときは、テキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。また、ファイルによってもテキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。
- テキスト表示ウィンドウで表示される文字は、1番手前に表示されているExcelファイル（選択されているExcelファイル）の拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字です。
- セルからはみ出した文字上にカーソルがあった場合は、テキスト表示ウィンドウは表示されません。はみ出した文字が格納されているセル上にカーソル（拡大表示ウィンドウの中央部分）を移動させてください。

# ズームビューアーを設定する

**1** **画面右下のタスクトレイの を右クリックする。**

**2** **[設定]をクリックする。**




**[表示／非表示のショートカットキーの割り当て]**

- 外部マウス／フラットパッドを使用するとき
  ① [マウス／タッチパッド]をクリックする。
  ② **Alt**、 **Ctrl**、 **Shift**の中から組み合わせるキーをクリックし、チェックマークを付ける。（複数キーの組み合わせが可能です。例：**Ctrl**+**Alt**）
  ③ [右クリック]または[左クリック]のいずれかのうち、上記の手順②で選択したキーと組み合わせて使うものを選択してください。
- キーボードを使用するとき
  ① [キーボード]をクリックする。
  ② エディットボックスをクリックし、ショートカット用に使うキーを押す。（例：**Alt**+**Z**、 **Ctrl**+**Alt**+**Z**など）

**[ウインドウデザイン]**
拡大表示ウィンドウの形を選択します。

**[起動]**
Windowsの起動と同時にズームビューアーを自動的に起動するように設定したり、ズームビューアー起動時に説明を表示するように設定したりすることができます。

**3** **[OK]をクリックする。**

# ハードウェアの自己診断機能



本機のハードウェアが正常に動作していない可能性がある場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って診断することができます。
ハードウェアに問題が発見されたときは、ご相談窓口にご相談ください。
このユーティリティでソフトウェアを診断することはできません。

## PC-Diagnostic ユーティリティで診断できるハードウェア

- CPU
- メモリー
- ハードディスク
- CD/DVD ドライブ
- ビデオコントローラー
- サウンドコントローラー [*1]
- モデム
- LAN 機能
- 無線 LAN 機能
- Bluetooth 機能
- USB
- IEEE 1394 機器
- PC カードコントローラー
- SD カードコントローラー
- ExpressCard コントローラー
- シリアルポート
- キーボード
- フラットパッド

[*1] Windows メニューで音声をオフにしている場合は、ビープ音は鳴りません。

- ビデオコントローラー診断の実行中に、画面が乱れることがあります。また、サウンドコントローラー診断の実行中に、スピーカーから音が出ることがあります。いずれも故障ではありません。

# PC-Diagnostic ユーティリティについて

お知らせ

- ハードディスクとメモリーについては、標準診断と拡張診断のいずれかを選択できます。
  PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、標準診断がスタートします。

- 操作にはフラットパッドを使用することをお勧めします。フラットパッドを使わない場合は、内蔵キーボードをお使いください。

| 操作内容 | フラットパッド操作 | 内蔵キーボード操作 |
|---|---|---|
| アイコンを選ぶ。 | アイコンの上にカーソルを置く。 | Space を押し、→ ← ↑ ↓ を押す（☒（閉じる）は選択できません）。 |
| アイコンをクリックする。 | クリックする（右クリックは使えません）。 | アイコンの上で Space を押す。 |
| PC-Diagnostics ユーティリティを終了し、パソコンを再起動する。 | ☒（閉じる）をクリックする。 | Ctrl + Alt + Del を押す。 |

- フラットパッドが正常に動作しない場合は、 Ctrl + Alt + Del を押すか、電源スイッチを押して電源を切り、パソコンを再度起動してから PC-Diagnostic ユーティリティを起動してください。

## 診断を実行する

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の状態に戻して診断を実行してください。
セットアップユーティリティその他の設定でハードウェアが無効になっていると、そのハードウェアのアイコンがグレー表示されます。

**1** **AC アダプターを接続する。**
診断が完了するまで、AC アダプターを取り外したり、周辺機器を取り付けたりしないでください。

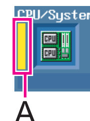
**2** **無線切り替えスイッチ（➔61ページ）の電源を入れる。**

**3** **パソコンの電源を入れるか再起動し、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**
セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- セットアップユーティリティを工場出荷時の設定から変更している場合は、設定をメモしておくことをお勧めします。

**4** **F9 を押す。**
確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。

**5** **F10 を押す。**
確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。
パソコンが再起動します。

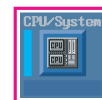
**6** **[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、画面下に「Please Wait」と表示されるまで Ctrl + F7 を押す。**
PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、すべてのハードウェアの診断が順番に始まります。
- パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
- ハードウェアアイコンの左側のバー（A）が青色と黄色に交互に点滅し始めるまで、フラットパッドと内蔵キーボードは使えません。




- 画面上のアイコンをクリックして、次の操作をすることができます。
  - ▷ : 診断を最初から実行する。
  - □ : 診断を中止する。（▷ をクリックしても、途中から再開することはできません）
  - i : ヘルプを表示する。（画面をクリックするか、 Space を押すと元の画面に戻ります）

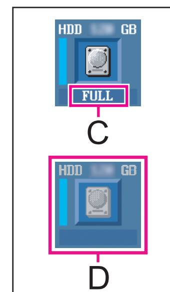
- 診断状況は、ハードウェアアイコンの左側に表示されるバー（A）の色で確認できます。
  - 水色：診断を実行していません。
  - 青色と黄色が交互に点滅：診断を実行中です。点滅の間隔は、標準診断か拡張診断かにより異なります。メモリー診断の場合は、画面が長い間停止状態になる場合があります。診断が終了するまでお待ちください。
  - 緑色：問題は見つかりませんでした。
  - 赤色：問題が見つかりました。

お知らせ



B

例：ハードディスク




- 以下の手順で、特定のハードウェアの診断を実行したり、メモリーやハードディスクの拡張診断を実行したりすることができます（拡張診断はメモリーとハードディスク専用に用意されています）。拡張診断は詳細な診断を行うため、実行が終了するまでにより多くの時間がかかります。

  ① をクリックして診断を中止する。

  ② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックし、グレー表示（B）させる。
  メモリーまたはハードディスクの診断を実行しているときは、アイコンを一度クリックすると拡張診断（「FULL」（C）がアイコンの下に表示されます）になりますので、再度クリックしてアイコンをグレー表示（D）させてください。

  ③ をクリックして診断を開始する。

**7** **すべてのハードウェアの診断が終わったら、診断結果を確認する。**

バーの色が赤色になり、「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、ハードウェアに問題があると考えられます。赤色のハードウェアを確認し、ご相談窓口にご相談ください。
バーの色が緑色になり、「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、ハードウェアは正常に動作しています。そのままパソコンをお使いください。それでもパソコンが正しく動作しない場合は、ソフトウェアを再インストールしてください（⇒『取扱説明書』「再インストールする」）。

お知らせ

- RAM モジュール（別売り）を増設してメモリーの診断を実行し、「Check Result TEST FAILED」が表示された場合は、増設した RAM モジュールを取り外し、診断を実行してください。再び「Check Result TEST FAILED」のメッセージが表示された場合は、内蔵 RAM モジュールに問題があると考えられます。

**8** **☒（閉じる）をクリックするか、Ctrl + Alt + Del を押してパソコンを再起動する。**

# ハードディスクバックアップ／復元機能

[Windows Complete PC バックアップと復元 ] および [ システム回復オプション ] を使うことで、パソコンが動作しなくなったときにハードディスク全体を復元することができます。

データのバックアップ時または復元時にハードディスクに問題があると、正常にバックアップや復元をすることができません。また、予期せぬ誤動作／誤操作などにより、データの復元中にエラーが生じた場合、ハードディスク内のお客さまのデータ（復元前のデータ）が失われる場合がありますのでご注意ください。
本機能の使用により生じたお客さまの損害（データの消失を含む）については補償いたしかねます。

## ハードディスクをバックアップする

[Windows Complete PC バックアップと復元 ] 機能を使うと、別の記憶メディア（外付けハードディスクなど）に、ハードディスク全体のバックアップを自動または手動で行うことができます。
また [ バックアップと復元センター ] では、ファイルやフォルダー単位でもバックアップが行えます。
詳しい方法を確認するには、（スタート）- [ コントロールパネル ] - [ バックアップの作成 ] をクリックしてください。

お知らせ

- AC アダプターを接続し、バックアップが完了するまで取り外さないでください。

## ハードディスクを復元する

お知らせ

- 以下の操作は、お買い上げ後に初めて電源を入れたときや再インストール直後には行えません。一度Windows を起動／終了させると操作可能になります。
- AC アダプターを接続し、復元が完了するまで取り外さないでください。

1 **本機の電源を入れ、[Panasonic] 起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続け、「詳細ブート　オプション」画面が表示されたら指を離す。**

2 **↑ ↓ を使って[ コンピュータの修復] を選び、Enter を押す。**
[ システム回復オプション] が表示されます。

3 **キーボードレイアウトを選び、[ 次へ] をクリックする。**

4 **[ ユーザー名] を選び、[ パスワード] を入力してから、[OK] をクリックする。**

5 **[Windows Complete PC 復元] をクリックし、画面の指示に従って操作する。**

お知らせ

- **F8** を押しても[ システム回復オプション] が表示されない場合は、Windows Vista 用プロダクトリカバリーDVDROMを使ってハードディスクを復元してください。
  ① パソコンの電源を切り、マルチメディアポケットにCD/DVD ドライブを挿入する（➔29ページ）。
  ② パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、 **F2** または **Del** を押す。
  - セットアップユーティリティが起動します。
  - パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

  ③ 設定をメモしておき、**F9** を押す。
  - 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、 **Enter** を押してください。

  ④ **F10** を押す。
  - 確認のメッセージが表示されたら「はい」を選び、 **Enter** を押してください。
  - セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

  ⑤ [Panasonic] 起動画面が表示されている間に、 **F2** または **Del** を押す。
  - セットアップユーティリティが起動します。
  - パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

  ⑥ WIndows Vista用プロダクトリカバリー DVD-ROMをCD/DVDドライブにセットする。
  ⑦「終了」メニューを選び、「デバイスを指定して起動」で「TEAC DV-W28EC」を選択する。
  ⑧ **Enter** を押す。
  - パソコンが再起動します。

  ⑨「選択してください」画面で[ システム回復オプションを起動する] をクリックして選び、[ 次へ] をクリックする。
  ⑩ 画面の指示に従って操作する。

# ハードディスクの内容をすべて消去する



パソコンを廃棄または譲渡する場合には、データが流出しないよう、ハードディスクのデータをすべて消去してください。通常の Windows メニューでデータの消去やハードディスクの初期化を行った場合でも、特殊なソフトウェアを使うと、消去されたデータが読み出される可能性があります。ハードディスクデータ消去ユーティリティを使って、データをすべて消去してください。
市販のソフトウェアをアンインストールせずに譲渡すると、ソフトウェア使用許諾契約に違反するおそれがありますのでご注意ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティでは、データを上書きする方法を用いていますが、誤動作や誤操作が起こると、データが完全に消去されない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性があります。非常に機密性の高いデータを消去する必要がある場合には、専門業者に依頼することをお勧めします。また、このユーティリティの使用により生じた損失や損害については補償いたしかねます。

**お願い**

- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けのハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷したハードディスクのデータは消去できません。

**お知らせ**

- ハードディスクのデータを消去しても、DVD-Videoのリージョンコードを設定できる回数はリセットされません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

**準備**

- 次のものを準備してください。
  - Windows Vista 用プロダクトリカバリー DVD-ROM（付属）
  - 当社製 CD/DVD ドライブ（内蔵）
- すべての周辺機器を取り外す。（CD/DVD ドライブを除く）
- AC アダプターを接続する。操作が完了するまで取り外さないでください。

**1** **パソコンの電源を切って、CD/DVD ドライブをマルチメディアポケットの中に入れる（➔29ページ）。**

**2** **パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

**3** **F9 を押す。**
確認メッセージが表示されたら「はい」を選び、 Enter を押してください。

**4** **F10 を押す。**
確認メッセージが表示されたら「はい」を選び、 Enter を押してください。
パソコンが起動します。

**5** **[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**
セットアップユーティリティが起動します。
- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

**6** **CD/DVD ドライブにWindows Vista用プロダクトリカバリー DVD-ROM をセットする。**

**7** **「終了」メニューを選び、「デバイスを指定して起動」で「TEAC DV-W28EC」を選択する。**

**8** **Enter を押す。**
パソコンが再起動します。
- 「パスワードを入力してください」が表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

**9** **[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。**

**10** **確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。**

**11** **[実行する] をクリックする。**

**12** **再度 [実行する] をクリックする。**

**13** **[はい] をクリックする。**
ハードディスクのデータ消去が開始されます。

**14** **終了のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリー DVD-ROMを取り出し[OK] をクリックして電源を切る。**

## ネットワーク接続と通信ソフトウェアについて

省電力機能は、通信ソフトウェアを終了してからお使いください。

- 通信ソフトウェアを使用中に省電力機能（スリープ機能や休止状態機能）が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下したりすることがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- ネットワーク環境でお使いのときは、[コンピュータをスリープ状態にする]と[次の時間が経過後休止状態にする]を[なし]に設定することをお勧めします。（➔10ページ）

## Windows関連ファイルについて

Windows Vista DVD-ROM に収録された Windows 関連ファイルは、下記のフォルダーにインストールされています。
c:¥windows¥support¥migwiz、c:¥windows¥support¥tools

# エラーコード／メッセージ



エラーコードやメッセージが表示された場合は、下記の対処の説明に従ってください。それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

| エラーコード／メッセージ | 対処 |
|---|---|
| **システム CMOS 値が正しくありません。**<br>**システム CMOS のチェックサムが正しくありません。** | セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、メモリーの内容が変更された場合に起こるエラーです。<br>● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。<br>● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 |
| **日付と時刻の設定が正しくありません。01/01/2008 に設定しました。** | 日付と時刻の設定が正しくありません。<br>● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。<br>● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 |
| <F2> **キーを押すとセットアップを起動します。** | ● エラー内容をメモした後、 F2 または Del を押してセットアップユーティリティを起動してください。必要に応じて設定を変更してください。 |
| RAM **モジュールエラーです。** | RAM モジュールが正しく取り付けられていなかったり、指定以外の RAM モジュールが取り付けられていたりすると、パソコンの電源を入れたときにビープ音が鳴り、「RAM モジュールエラーです。」というメッセージが表示されます。<br>● 電源スイッチを 4 秒間以上押し続けてパソコンの電源を切り、RAM モジュールの仕様が指定のものであることを確認し、正しく取り付け直してください。 |

トラブルが発生した場合は、以下の方法をお試しください。以下の方法でも解決しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。ソフトウェアに関する問題は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

- パソコンの使用状態を確認するには（➔119 ページ）

## ■ 終了時

| | |
|---|---|
| Windows の終了または再起動ができない。 | ● USB 機器を取り外してください。<br>● 終了するまで 1 〜 2 分かかる場合があります。 |

## ■ ディスプレイ

| | |
|---|---|
| Fn + F2 を押しても画面が明るくならない。 | ● 周囲の温度が高い場合、誤動作を防ぐために輝度が低く設定されます。5 ℃ 〜 35 ℃の環境でお使いください。 |

## ■ スリープ・休止状態機能

| | |
|---|---|
| スリープまたは休止状態に入ることができない。 | ● USB 機器をいったん取り外してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。<br>● スリープ・休止状態に入るまで 1 〜 2 分かかる場合があります。<br>● モデム経由で通信している場合、パソコンがスリープ状態に入らないことがあります。<br>● リジューム直後はスリープまたは休止状態に入りません。約 1 分間お待ちください。<br>● B's CLiP を使ってフォーマットしたディスクが CD/DVD ドライブに入っている場合、パソコンがスリープ状態や休止状態に入らないことがあります。ディスクを取り出してください。 |
| 自動的にスリープまたは休止状態に入らない。 | ● 周辺機器を取り外してください。<br>● B's CLiP を使ってフォーマットしたディスクが CD/DVD ドライブに入っている場合、パソコンがスリープ状態や休止状態に入らないことがあります。ディスクを取り出してください。<br>● 無線 LAN 機能を使ってネットワークに接続している場合、プロファイルを選択し、アクセスポイント（➔64 ページ）に接続してください。<br>● 無線 LAN 機能を使わない場合、無線 LAN の電源を切ってください。（➔63 ページ）<br>● ハードディスクに定期的にアクセスするソフトウェアを使っていないか確認してください。 |

## ■ スリープ・休止状態機能

| | |
|---|---|
| パソコンがリジュームしない。 | ● 電源スイッチを 4 秒以上押し続けると、パソコンが強制終了し、リジュームしません。その場合、保存されていないデータはすべて失われます。<br>● パソコンがスリープ状態のときに、AC アダプターとバッテリーパックを取り外しませんでしたか？<br>スリープ中に電力の供給がなくなると、保存されていないデータは失われ、パソコンはリジュームしません。<br>● バッテリー残量がありません。スリープまたは休止状態でも電力は消費されます。 |

## ■ サウンド

| | |
|---|---|
| 音が聞こえない。 | ● **Fn**+**F4** または **Fn**+**F6** を押してミュートを解除してください。<br>● パソコンを再起動してください。 |
| 音が乱れる。 | ● **Fn** とのキーの組み合わせによる操作をすると、音が乱れることがあります。再生をいったん停止し、再生し直してください。 |
| **Fn**+**F5** または **Fn**+**F6** で音量を変更できない。 | ● Windows サウンド機能を有効に設定してください。サウンド機能が働いていないと、が表示されても音量は変化しません。 |
| ログオン時（パソコンのリジューム時など）に音声がひずむ。 | ● 次の手順を実行し、サウンド設定を変更して音声出力を停止してください。<br>① デスクトップを右クリックし、[個人設定] - [サウンド] をクリックする。<br>② [Windows スタートアップのサウンドを再生する]のチェックマークを外す。 |

## ■ キーボード

| | |
|---|---|
| 日本語が入力できない。 | ● **半角 / 全角**を押して日本語入力モードにしてください。 |
| 数字しか入力できない。 | ● NumLK ランプ ⓵ の点灯中は、キーボードがテンキーモードになっています。**NumLk** を押して解除してください。 |
| 大文字しか入力できない。 | ● Caps Lock ランプ Ⓐ の点灯中は、キーボードが大文字入力モードになっています。 **Shift**+**Caps Lock** を押して解除してください。 |
| 特殊文字（ß、à、ç など）や記号が入力できない。 | ● 文字コード表を使ってください。（スタート）- [ すべてのプログラム ] - [ アクセサリ ] - [ システム ツール ] - [ 文字コード表 ] をクリックしてください。 |

## ■ ディスク操作

| | |
|---|---|
| CD/DVD ドライブが正常に動作しない。 | ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「光学ドライブ」を「有効」に設定してください。（➔93 ページ）<br>● レンズのクリーニングを行ってください。（➔31 ページ）<br>● ディスクの状態を確認してください。（➔32 ページ） |
| 市販の DVD レコーダー / CPRM で録画したテレビ番組が再生できない。 | ● 番組が DVD-Video モードで DVD-R/RW に録画されているとき、または VR モードで DVD-RW に録画されているときには、DVD レコーダーでディスクをファイナライズしてください。 |
| MPEG の画像を再生しているときに画面の背景が青くなる。 | ● 動作中に、CD/DVD ドライブから、ディスクを取り出しませんでしたか？ディスクをセットしてディスクトレイを閉じてください。 |
| CD/DVD ドライブ振動や作動音が大きい。 | ● ディスクを正しくセットしてください。<br>● ディスクの状態を確認してください。（➔32 ページ）<br>● B's Recorder を使って CD-R/RW に書き込むときは、書き込み速度を [8 倍速 ] 以下に設定してください。 |
| ディスクが取り出せない。 | ● パソコンの電源が入っていますか？<br>電源が入っていない状態でディスクを取り出すには、直径 1.3 mm のピンをエマージェンシーホール（A）に挿し込んで、トレイを引き出してください。（ピンの直径がこれより小さい場合は、ピンを少し下に向けて挿し込んでください。また、穴の位置はドライブによって異なります。）<br>A |
| ディスクトレイが閉じない。 | ● トレイを閉じるとき、ディスク取り出しボタンを押していませんか？トレイを閉じるときはディスク取り出しボタンに触れないでください。 |
| B's CLiP を使いたい。 | ● B's CLiP をインストールしてください。インストールの際、シリアル番号が必要となります。（⇒『取扱説明書』「困ったときの Q&A」の「B's Recorder ／ B's CLiP の再インストール」）<br>① （スタート）をクリックし、[検索の開始]に[c:¥util¥bha¥clip]と入力し、 **Enter** を押す。<br>② [Japanese]フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックする。<br>● 画面の指示に従って操作してください。 |
| その他のディスク操作上の問題。 | ● 別のドライブもしくはディスクをお使いください。 |

## ■ ネットワーク

| | |
|---|---|
| ネットワークに接続できない。 | ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」または「モデム」を「有効」に設定してください。(➔93 ページ) |
| パソコンの MAC アドレスが確認できない。 | ● 次の手順を行ってください。<br>① （スタート）- [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]をクリックする。<br>② 「getmac/fo list /v」と入力し**Enter**を押す。<br>● “fo”と“list”の間、“list”と“/v”の間にはそれぞれスペースを挿入してください。<br>③ 無線LANのMACアドレス：<br>「Intel(R) WiFi Link 5100」の「物理アドレス」の行に表示される12けたの英数字をメモする。<br>有線LANのMACアドレス：<br>「Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection」の「物理アドレス」の行に表示される12けたの英数字をメモする。<br>④ 「exit」と入力し **Enter**を押す。 |

## ■ 無線通信

| | |
|---|---|
| ネットワークに接続できない。 | ● 無線切り替えスイッチをスライドし、無線 LAN をオンにしてください。<br>● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「モデム」または「無線 LAN」または [Bluetooth] を「有効」に設定してください。(➔93ページ)<br>● パソコンを再起動してください。 |

## ■ 無線通信

| | |
|---|---|
| アクセスポイントが検出されない。 | ● パソコンとアクセスポイントの距離を近づけて、再度検出してください。<br>● 次の設定内容を確認してください。<br>・セットアップユーティリティの「詳細」メニューの「無線LAN」の設定状態<br>「無線LAN」が「有効」に設定されているか確認する。（➔93ページ）<br>・無線切り替えスイッチの状態<br>無線切り替えスイッチをオン側へスライドする。<br>・無線切り替えユーティリティの状態<br>「無線LAN」が「オン」になっているか確認する。（➔62ページ）<br>● IEEE802.11b/g を使う場合、本機はチャンネル 1 ～ 13[*1] を使用して接続を行います。このチャンネルがアクセスポイントで使用されているかどうか確認してください。<br>*1 無線接続を行う場合、使用される周波数帯域をセグメントに分割し、各帯域セグメントを用いて別個の接続を行うことができます。「チャンネル」とは分割された個々の周波数帯域幅をいいます。 |

## ■ 周辺機器を接続する

| | |
|---|---|
| ドライバーのインストール中にエラーが発生する。 | ● カードや周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OS に対応していることをご確認ください。未対応のドライバーを使用すると、誤動作につながる場合があります。ドライバーについては、周辺機器の製造元にお問い合わせください。<br>● ドライバーが入ったメディア（CD-ROM など）に対応する機器を取り付けてください。ドライバーのインストール画面が表示された後でマルチメディアポケットに機器を挿入しても、認識されません。 |

## ■ 周辺機器を接続する

| | |
|---|---|
| 周辺機器が動作しない。 | ● ドライバーをインストールしてください。<br>● 機器の製造元にお問い合わせください。<br>● スリープ・休止状態からリジュームした後、マウスやモデム、PC カードなどが正しく動作しないことがあります。その場合はパソコンを再起動するか、機器を初期化してください。<br>● デバイスマネージャで⚠が表示される場合は、機器を抜き挿ししてください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。<br>● 機器の中には、パソコンが取り付け／取り外しを認識しなかったり、正常に動作しなかったりするものがあります。次の操作を行ってください。<br>① （スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ ] - [デバイス マネージャ ]をクリックする。<br>● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。<br>② 該当の機器を選択し、[電源の管理]の[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]のチェックマークを外す。（この項目がない場合もあります。）<br>● USB 機器が動作しない場合は、USB 機器を接続し直すか、別の USB ポートに接続してください。 |
| 接続しているマウスが動作しない。 | ● マウスの接続を確認してください。<br>● マウスに対応するドライバーをインストールしてください。<br>それでもマウスが動作しない場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔92 ページ） |
| USB フロッピーディスクドライブが、起動ドライブとして動作しない。 | ● 当社製 USB フロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03U）（別売り）のみお使いいただけます。<br>● フロッピーディスクドライブを、直接パソコンの USB ポートに接続してください。USB ハブなどの USB ポートを経由して接続しないでください。パソコンの USB ポートにすでに接続している場合は、別の USB ポートに接続してみてください。<br>● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「USB ポート」と「レガシー USB」を「有効」に設定してください。（➔93 ページ）<br>● セットアップユーティリティの「起動」メニューで、「起動オプション #1」を「USB フロッピー」に設定してください。（➔94 ページ）<br>● パソコンの電源を切り、USB フロッピーディスクドライブを接続後、パソコンを再起動してください。 |

## ■ 周辺機器を接続する

| | |
|---|---|
| RAM モジュールが認識されない。 | ● RAM モジュールを正しく取り付けてください。<br>● 仕様に合った RAM モジュールをお使いください。（➔50 ページ）<br>● セットアップユーティリティの「情報」メニューをご確認ください。（➔91 ページ）RAM モジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、取り付け直してください。 |
| 割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレスなどのアドレスマップがわからない。 | ● 次の手順で確認することができます。<br>① （スタート）- [コンピュータ] - [システムのプロパティ ] - [デバイス マネージャ ]をクリックする。<br>● 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。<br>② [表示] - [リソース(種類別)]をクリックする。 |
| シリアルコネクターに接続している機器が動作しない。 | ● 接続を確認してください。<br>● 機器のドライバーは働いていますか？詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。<br>● 同時に、2 個のマウスを使わないでください。<br>● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔92 ページ）<br>● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「シリアルポート」を「有効」に設定してください。（➔93 ページ） |
| 印刷できない。 | ● プリンターの接続を確認してください。<br>● プリンターの電源を入れてください。<br>● プリンターはオンラインになっていますか？<br>● 用紙がなかったり、つまったりしていませんか？<br>● プリンターの電源を入れてパソコンに接続後、パソコンを再起動してください。<br>● プリンターがネットワーク経由で接続されている場合には、ネットワークの接続を確認してください。 |
| LAN の通信速度が極端に遅くなる。<br>PC カードを経由したデータ通信が正常に動作しない（IEEE1394 PC カードを使って DV カメラに書き出す場合に動画が乱れるなど）。<br>無線 LAN 接続が切断されている。 | ● 次の設定をしてみてください。<br>（スタート）- [コントロールパネル] - [システムとメンテナンス] - [電源オプション]をクリックし、[高パフォーマンス]を選択してウィンドウを閉じる。 |

## ■ フラットパッド

| | |
|---|---|
| カーソルが動かない。 | ● 外部マウスを正しく接続してください。<br>● キーボードを操作して、パソコンを再起動してください。<br>⊞ を押し、→ を 3 回押し、↑ を押し、[再起動] を選択して Enter を押してください。<br>● キーボードで操作できない場合は、「応答がない。」をご覧ください。(➔118 ページ) |
| フラットパッドを使って入力できない。 | ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「有効」に設定してください。(➔92 ページ)<br>● マウスのドライバーの種類によっては、フラットパッドが使えないことがあります。詳しくはマウスの取扱説明書をご覧ください。 |
| Internet Explorer でフラットパッドのスクロール機能を使用できない。 | ● マウスカーソルを Internet Explorer の外へ移動してから、あらためて内側へ戻してみてください。 |

## ■ PCカード／エクスプレスカード

| | |
|---|---|
| カードが使えない。 | ● カードは正しく挿入されていますか？<br>● 規格に合ったカードをお使いください。<br>● カードまたはその他の機器のドライバーをインストールした後、パソコンを再起動してください。<br>● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「PCカードスロット」と「ExpressCardスロット」を「有効」に設定してください。(➔93ページ)<br>● ポートを正しく設定してください。<br>● カードの取扱説明書をご覧になるか、カードの製造元にお問い合わせください。<br>● カードを入れ直してください。(➔44 ページ)<br>● OS に対応したドライバーをお使いください。 |

## ■ SD メモリーカード

| | |
|---|---|
| SD メモリーカードが使えない。 | ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「SDスロット」を「有効」に設定してください。(➔93ページ)<br>● 本機は、一部のSD/SDHCメモリーカードの最大保証速度をサポートしていません。 |

## ■ ユーザーの簡易切り替え機能

| | |
|---|---|
| アプリケーションソフトなどが正しく動作しない。 | ● ユーザー簡易切り替え機能を使用して別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。<br>• アプリケーションソフトが正しく動作しない。<br>• Fn とのキーの組み合わせが動作しない。<br>• 画面の設定ができない。<br>• シリアルマウスが動作しない。<br>• < セキュリティチップ（TPM）内蔵モデルのみ ><br>内蔵セキュリティチップ（TPM）の Personal Secure Drive が動作しない。<br>• 画面右下のタスクトレイに B's CLiP のアイコンが表示されず、ディスクに書き込みができない。<br>• 無線 LAN が使えない。<br>• Bluetooth が使えない。<br>このような場合は、ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにすべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 |

## ■ その他

| | |
|---|---|
| 応答がない。 | ● Ctrl+Shift+Esc を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。<br>● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウィンドウで隠れていませんか？ Alt+Tab で表示されている画面を確認してください。<br>● 電源スイッチを4秒以上押してパソコンを強制終了した後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、下記のメニューでそのアプリケーションソフトをいったん削除してから再度インストールしてください。<br>（スタート）- [コントロール パネル] - [プログラムのアンインストール] |
| Windows® Media Playerで動画の再生できず、[コーデックが必要] というメッセージが表示される。 | ● 一部の動画ファイルでは、標準でインストールされていないコーデックを使用するものがあります。その場合、インターネットに接続した後、再度動画ファイルを再生してください。自動的にコーデックがダウンロードされて再生できるようになることがあります。 |

# パソコンの使用状態を確認する

PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。BIOS のバージョンやインストールされているアプリケーションソフトやドライバーの名称などが確認でき、お問い合わせ時にも役立ちます。

お知らせ

- 本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大1024バイトです。これらの情報は万が一、ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。この機能を無効にするには、PC 情報ビューアーの [ハードディスク使用状況] の [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] のチェックボックスにチェックマークを付けて [OK] をクリックしてください。
  - 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。
- 実行中は、PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。
- Guest権限でログオンした場合、一部「未検出」と表示される情報があります。
- ネットワークの環境によっては、PC情報ビュアーの起動に1分程度かかります。

**1** **（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー ] - [PC情報ビューアー ]をクリックする。**

**2** **項目をクリックして、その項目の詳細情報を表示する。**

## ■ 情報をテキストファイルで保存する

**1** **保存したい情報を表示する。**

**2** **[保存]をクリックする。**

**3** **ファイル保存する範囲を選択し、[OK]をクリックする。**

**4** **情報を保存するフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。**

- [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]にチェックマークが付いていない場合、あらかじめ記録されているハードディスクドライブの管理情報などの履歴も保存されます。

## ■ 画面のコピーを画像ファイルに保存する

**1**　**保存したい画面を表示する。**

**2**　**Ctrl + Alt + F7 を押す。**

**3**　**メッセージが表示されたら[OK]をクリックする。**

[ドキュメント]フォルダーに画面の画像ファイルが保存されます。

- 次の操作で保存することもできます。

  （スタート）- [ すべてのプログラム ] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー ] - [ 画面コピー ] をクリックする。

お知らせ

- 画像は256色のビットマップファイルです。
- 拡張デスクトップモード（➔53ページ）を使用しているときは、プライマリーデバイス側に表示している画面が保存されます。
- 工場出荷時は、コピーするキーの組み合わせはCtrl + Alt + F7 になっています。次の手順で変更することもできます。

  ① コンピューターの管理者の権限で Windows にログオンする。
  ② （スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー ]をクリックする。
  ③ [画面コピー ]を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット]をクリックする。
  ④ カーソルを[ショートカットキー ]に動かし、ショートカットに使うキーを押す。
  ⑤ [OK]をクリックする。

PCJ0245G_V